

原因不明の痛み

線維筋痛症でも絶望する必要はない
何故なら天啓で確実に改善する



北沢 勇人
天啓気療師

治療法がないとあきらめていた人へ朗報
痛みの種類や部位を選ばない驚愕の癒し

究極のヒーリング

ルネッサンス・アイ

まえがき

この書籍のタイトルは「原因不明の痛み」となっています。皆さんご存知の通り、原因

不明の痛みについて取り挙げれば数え切れないと多くあります。その中でも線維筋痛症の痛みに苦しんでいる方が大勢います。よって本来ならタイトルを「線維筋痛症の痛み」とするところですが、痛みの種類を限定しないタイトルといたしました。要するに、線維筋痛症の改善を取り挙げたのは、原因不明の痛みがあり改善が難しい線維筋痛症でも改善いたしますので、他の様々な痛みに苦しんでいる方でも改善いたします。ですから、そのようにいたしました。

私は、今まで天啓気療を約二十一年間と長期にわたり実施してきました。その中に置いて心に残る体験例として、線維筋痛症の患者さんの例があります。なぜ記憶に残つてゐるかと申しますと、線維筋痛症を患つた方の場合、現代医療の最先端を行く西洋医学の治療を実施しても、その他の様々な治療を実施しても改善が難しいとされています。ところが、私の実施する天啓気療では、殆ど全ての方と言つても良いほど容易に改善するからです。

ところで、この書籍を書き表すためには、多少の迷いと不安があります。なぜ迷いと不安があるかと申しますと、現代は科学万能の時代であり、物質世界そのものである、と多くの方々に信じられているからです。そのため、目に見えない事柄に對して皆様に理解を

求める事は、無理があるのかも知れないからです。

日本の医療は、西洋医学が中心であり、「手がさしによる治療や癒し」など、普段の生活状態では全くと言つてよいほど馴染みのない言葉や名称であり、理解や納得などして頂けるかどうかの不安があるからです。さらに、私が天啓により授かつた能力は、宗教活動によつて授かつた能力である、と多くの方々が勘違いをしているようにも感じるからです。

私が授かつた能力を活用し役立たせるときには、確かに手をかざして治療を実施するため、宗教活動の行為の一環ではないかと疑われてしまうのも仕方がないものを感じています。しかし、私が天啓により授かつた能力は、宗教活動に關係がないばかりか、巷にありふれている他の治療法に用いる能力とは比較できないほど素晴らしいことを納得して頂き、お役に立ちたいと心の底から願い、たとえ誤解が生じようともこの書籍を公開しております。

線維筋痛症に悩んでいる方の場合、精神的な苦痛だけではなく、全身に激しい痛みを伴います。想像を超えるほどの痛みがありますが、死に至る病気ではないとして、安易に取り扱われています。さらに、患者さんが激痛を訴え様々な検査を試みて頂いても「何も悪い所は無いから痛みがあるはずがない」と一蹴されてしまることが多いのです。

線維筋痛症に関しての書籍も多く出版されていますが、どの書籍にも、改善したとか、

改善するなどとの記述は一切なく、あるいは、線維筋痛症とはどのような症状であるとか、原因が分からぬとか、改善の期待できないなどの説明ばかりであり、線維筋痛症に悩んでいる当人にとってはどうでも良いことばかりのように感じます。なぜなら、線維筋痛症に悩んでいる当人は痛みから解放されることを願っているのであり、専門的知識など興味がないものと考えられ、線維筋痛症の知識などどうでも良いはずです。

ホームページなどを閲覧してもやはり同じであり、線維筋痛症に悩んでいる方にとって改善に対する希望が持てない状況になっています。さらに、マスクなどにおいても、線維筋痛症の事柄について著しく改善が難しいなどと大きく取り上げられています。よつて、改善に対する希望が益々そがれています。

線維筋痛症は、身体に激しい痛みが長期間続くにも関わらず、発症する原因も分からず治療法も確立されていないため、改善することにも希望が持てないばかりか、考えられない状況になっています。

ところが、六年前から線維筋痛症の激痛が体全体にあり、私のところに来院することは何とか出来るが帰りが心配であると何度も述べていた方が、一回の天啓氣療を受けただけで痛みを感じなくなつたのです。また、二十数年間全身に激痛があつた線維筋痛症の方の場合も、一回目の天啓氣療後に改善の兆しが歴然と現れています。さらに、十数年間激痛

に悩んでいた線維筋痛症の方の場合も、一回目の天啓氣療により歴然と改善がみられたのです。その他には、六年間寝たり起きたりの生活であつた方が、二回目の天啓氣療後ほぼ半分程度の痛みに変わつたのです。

線維筋痛症の場合、原因も分からず治療法も確立していません。そのため、改善もまた難しいとされています。その線維筋痛症が数回の天啓氣療によつて改善をしています。

この方々の場合、本当に線維筋痛症だつたのかと疑いを持たれても不思議ではないでしょう。しかし間違つてならないのは、この方々の診察を行い線維筋痛症であると断定した方は、全て病院の医師であることです。そして、改善したと言つてはいるのは、線維筋痛症の激痛に悩んでいた当人であることです。

なお、本文中には様々な症状の改善例などが登場します。この例などは、実際に体験した方々の体験談であり、私が勝手に自画自賛しているものではありません。

本書の内容を素直な心をもつて検討して頂ければ分かりますが、読者である貴方の為に役立つものと考えておりますので、宜しくお願ひいたします。

もくじ

現代書林「新・気功の達人」の転載 19

- 誰でも最初は信じられない でも大丈夫、きっと楽になる
動かないはずの足が動く、生命のけいけんなるあえぎ 21
光を浴びる体験を経て授かった癒しの力 22
理解を超えた能力に課された苦難の道 24
魂を逡巡させる縁の糸を結べるかが救いへの鍵 26
世間話をしながら約三十分 心身が体験する未知の世界 28
自然とのつながりに気づき、病から解き放される瞬間 29
病気の種類を選ばない 天啓気療の真理 31

三楽舎「この悩みにこのヒーラー・占い師・気功師」の転載 41

- 治療できないということがガンの快癒を可能にする 34
ある男性の氣療体験から生命の有り様を検証する 35
味わったことのない感覚 「これは本物だ」 37
脳性麻痺の人たちのピュアな魂に触れて 39

- 卓越した能力を全国の難病治癒に尽くす 42
何百万人かに一人の能力を得る 42
施術を提供するがバッシングも 44
氣功などに優る天啓気療の絶大なパワー 46
取材記者の施術体験 48
脳性小児麻痺の治癒例 50

もう一つの脳性小児麻痺の改善例	52	
解離性同一性障害および引きこもりの改善	54	
患者から寄せられた体験談	56	
脳性小児麻痺と線維筋痛症	57	
脳腫瘍の手術からの回避	五十代女性	58
天啓気療の能力とは・病気とは	61	
【私の病気体験から得られるもの】	62	
【天啓気療とは】	68	
【天啓気療を正しく知つて頂くために】	69	
【なぜ天啓気療の能力が】	70	
【天啓気療の方法とは】	72	
【天啓気療の最も注目すべき点】	78	
【不思議な体験の始まり】	90	
【治療の能力があると言われて】	93	
【私の使命、及び治療の方法について】	96	
【気功治療・チャクラの覚醒した人の治療の違いについて】	99	
【病気が改善するとは】	102	
【改善しやすい方と改善しにくい方の違い】	114	
【好転反応と思われる現象について】(偏差と表現されることも)	117	
線維筋痛症に悩む方の反応の出方は、激しい	119	
心の変化や別れについて	122	

II チヤクラの覚醒、及びクンダリニーの上昇とは

- 【チヤクラとは】 126
- 【チヤクラの覚醒とは】 127
- 【チヤクラが覚醒すると、どのような能力が發揮されるのか】 130
- 【クンダリニーの上昇とは】 131
- 【各チヤクラの位置】 135
- 【自律訓練法について】 137

もくじ

- 【線維筋痛症は本当に改善が可能か】 143
- 【病気とはどのようなもの】 144
- 【線維筋痛症であっても改善する】 146
- 【纖維筋痛症が発症する原因】 147
- 【私の考え方・纖維筋痛症が発症する原因】 149
- 【線維筋痛症に悩まされる方の性格】 153
- 【線維筋痛症に悩まされる方の特徴】 158
- 【線維筋痛症の概要】 160
- 【線維筋痛症の症状】 163
- 【線維筋痛症の治療薬】 168
- 【線維筋痛症の問題点】 169

VI 線維筋痛症の改善事例集..... 173

【線維筋痛症は治らない病気ではない】..... 174

【精神的な悩みと線維筋痛症、発症の要因は表裏一体】..... 176

【素直さがあれば、改善は早い】..... 178

【線維筋痛症の改善事例集】..... 180

◇薬を飲んでもますます痛みが増して悪化した線維筋痛症が改善..... 181

◇家族に対しても殺してくれと懇願する程の痛みが数回で改善..... 183

◇直前まで歩く事も出来なかつたが一回の天啓氣療で歩けた..... 188

◇激痛に悩まされ留年を余儀なくされた青年が改善..... 191

◇歩くのがやつとの痛みが、帰りには容易に歩けるほどに..... 195

◇二十数年間悩まされていた線維筋痛症が、わずか一回で改善..... 200

◇十代にはじまつた痛みに、自殺を考えるほど苦しんで天啓氣療へ..... 204

221
225
218
215
210
204
191
195
188
183
181
178
176
174

あとがき.....

現代書林「新・氣功の達人」の転載

誰でも最初は信じられない……でも大丈夫、きっと楽になる

施術を終えて、待合室のソファにどかっと腰を落とした男性が、どうも腑に落ちないと
いった面持ちで聞く。

「なんだか……変なふうに、身体が動いていませんでしたか？」

北沢先生が答える。

「ああー、バタバタと激しくではないけど、ずいぶん動いていたな、足の方は特に動いて
いたな」

「穏やかで明るい声だ。しかし、よく意味がわからない。

「大丈夫だよ、もう痛みはないでしょ」

「いや、帰り道にまたどうなるか……」

「歩いてみればわかるよ。明日になつたら、もつともつと楽になるよ」

帰り支度を始めながら、男性はなおも首を傾げながら「そうですかねえ……」

半信半疑といった表情だが、頬は紅潮し、目は輝いて、どことなく晴れ晴れとしている。
「誰でも最初はあんなもんだな。そりや信じろといつても、信じられないだろうからな」

ホームページを見て初めて来たという男性を「心配しなくとも大丈夫だから、絶対に大
丈夫だから」と玄関まで送り出した後、先生はさらりといつた。朴訥な福島なまりが耳に
心地よい。

動かないはずの足が動く、生命のけいけんなるあえぎ

男性は、四か月ほど前に突然右足が動かなくなり、痛みだしたという。少しでも歩くと
激痛が走る。どこの病院に行つても原因がわからず、診断結果は「心因性のもの」と。こ
れ以上、会社を休むわけにはいかない。そこで、病院以外の治療もいろいろと試した。し
かし、改善が全く見られず、万策尽きて天啓気療院を訪れたとのこと。

帰りがけに、不自由な反対側の左足のことを、北沢先生が尋ねると、彼は答えた。
「こっちの足はいいんです。物心がついてから五十年になるが、これでやってきましたか
ら」

実は、施術中に大きく動いていたのは左足のほうだ。先生によれば、麻痺や歪みの大き
い方の場合、尋常ではない動き方をすることがあるとのこと。普通ならとても真似のでき
ないような動きだそうだ。そのため、当人は気づいていても「まさか」という想いのほう

が強い。

この動きこそ、身体が本来の姿態に戻ろうとして起こる現象なのだと先生はいう。

「右足は痛みがすぐになくなるから、まもなく会社にも行けるようになる」とのこと。

そして、驚くべきことに、脳性麻痺と思われる左足も、あと数回通えば、以前とは比較ができないほど自由に動くようになるというのだ。

「物心がついてから五十年間も、ずっと治らないと思って、あきらめていたんだろうなあ……」

北沢先生は、慈しむように呟いた。その瞬間、ついさっき、少しギクシャクした足取りで立ち去った男性が、胸を張り、初夏の街をさつそと歩く姿が、くつきりと目に浮かんだ。

生命のあえぎのような場面に立ち会つた先生の言葉が、長い間の彼の苦しみを深く労わり、明日からの幸福を約束して、あまりにも温かく自信に満ちていた。

光を浴びる体験を経て授かつた癒しの力

「容易に信じられないかも知れない。当人である私も「貴方には、想像ができないほどの

治療や癒しのできる能力がある」といわれても、簡単には受け入れられなかつたのです」その能力を、北沢先生自身が得たのは、いまから十六年ほど前のことだ。春先のある日、それは突然始まつた。

身体中が、焼けつくほど熱くなり、火柱が上がり、身体も回りもさまざまな色に輝く、まばゆいばかりの光に包まれる。身体の内といわゞ外といわゞ、不可思議な音や声がひつきりなしに聞こえ、意味不明の言葉が口をついて出る。手足がガタガタと動き、身体が勝手にねじれ、見たこともない事柄や映像がさまざまな色に輝きながら見える。

毎晩のことではないが、訳がわからぬものだから、いつまたそうなるかと不安で眠れない。そんな日々が何年間も続いていた。

ある時「こういう経験をしていないか」と、ある健康補助食品の会合で会つた人に「貴方は、神様から与えられたエネルギーを自由に扱つて、病気を改善させ、癒すことができる」といわれる。

確かに様々な体験もし、その通りのようだが、そうはいわれても容易に信じられるわけがない。

「何をいつているんだ、この人は」とも思った。

だが、その会場で、足が痛いという女性に、皆の前で手をかざしてみろといわれ、試し

にやつてみた。すると、あつという間に「治った」といわれ、周囲も自分も驚く。更に、宿泊していたところにも、男性が足が痛いと訴えていたので試してみる、これもまた、あつという間に改善した。

そこで、そんな都合の良い話があるものかと思いつつも、体調を崩していた義母に対し、手をかざすと「すごく楽になった」と、感激したという。

そんな具合に試しから手をかざし始め、北沢先生は、次々と奇跡を起こしていくのである。

理解を超えた能力に課された苦難の道

福島県の片田舎で生まれ育った北沢勇人先生は、苦学して一級建築士の資格を取った後、建築設計会社を経営し活躍していたが、事業拡大と時を同じくバブルが崩壊し、莫大な借金を抱えてしまう。

なんとか経営を建て直そうと、能力開発セミナーなどに通いだす。その頃から、瞑想修行などを日課の一部とするようになった。

手かざしや気功については、テレビなどで見ていて「おおー、すごいなあ」と感心する

ことはあっても、自分がそのような能力をもつようになるなど思ってもみなかつた。「光の体験」を経たいまも、意識はさほど変わっていない。

「でもさあー、テレビ番組のパフォーマンスのように、人を倒したり、身体が動くよう操作能力を誇示してもなあー」(笑)

確かに、真に聖人と呼ばれる者の多くがそうであつたように、北沢先生には、気負いや強引きさというものが一切ない。物腰は柔らかで、笑顔を絶やさない、東北人らしい誠実さがにじみ出ている。

力を誇示する必要はない。自分に与えられた使命をわきまえているのであれば良い、といふ。

実際のことを述べると、北沢先生のその後の苦難は、察するに余りある。故郷福島を出て、東京で「天啓氣療院」を開業したのも、もちろん全国に散在する患者さんの求めに応じてのことだが、医療関係者にも、先生の手かざしをすすめる人や、自身も受ける人が増えたため、いわゆる地域の抵抗勢力が強くなってきたからだ。

子どもたちがイジメに遭っていたことも、後で聞かされた。今日でも手かざしを理解する方は少なく、十五年以上も前のことであり、北沢先生が天から授かった力を、すんなりと受け入れる土壤が育っているとはいえないなかつた。唯一最大の理解者が、家族だったとい

うことは想像に難くない。

光の体験に苦闘する父の姿、そして何より、多くの人がその能力によって救われ、喜ぶ様子を間近に見て、天啓気療の真理を確信していたからこそ、皆で乗り越えることができたのだろう。

魂を逡巡させる縁の糸を結べるかが救いへの鍵

現在は、東京で四日、福島で三日、東京と福島を往復している。どちらの気療院にも、待つていてる患者さんがいる。

九州や北海道からも来院する、更には、海外からも、交通費だけでも大変である。遠方の患者さんほんどの方がの場合、従来の医療に見離され、人伝てやホームページにて北沢先生のことを知り、ワラをもすぐる想いでやって来る。中には、民間医療や代替療法に数百万、数千万を使つたという人もいる。

それを思うと、できるだけ少ない施術回数で元気になつてほしい、と先生は本気で考え、現在でも瞑想修業などを欠かさない。

しかし、そんな北沢先生の想いも、ときには伝わらないことがある。

先生自身がいうように、理解の範疇を超えた能力を、最後まで信じ切ることができず、せつかく変化が出てきたのに途中で来なくなってしまう人、何度も予約しても、当日になると断念してしまう人、また、家族の反対をはじめ、さまざまな理由で来院を阻まれる人もいる。

病を治したいという当人の意志だけではなく、人智を超えて、強く確かな縁を結ばなければ、天啓気療の恵みは、得られないようなのだ。

取材の日も、予約が突然キャンセルになり、代わりに記者が施術してもらう好機にあづかった。

キャンセルの電話をしてきたのは、ウツ病の患者さんだという。神経性の病気を天啓気療で改善させた知人の紹介だったが、何度も電話で問い合わせ、そのたびに「とにかく一度来てみたら」と説得されても、最初の一歩がどうしても踏み出せずにいた。

「縁というものは非常にやつかいなものだ」

救われる生命とそうでない生命。北沢先生を真ん中に、魂の縁が行き交っている。

世間話をしながら約三十分 心身が体験する未知の世界

施術時間はわずか三十分程度。それ以上かけると、変化が著しく耐え抜けなくなるという。

ベッドに仰向けになり、目を閉じる。が、じつと神経を集中させて、などという緊張感は一切ない。施術室の扉も開放したままだ。

上京の際に必ず同行する奥様が、別の部屋で事務作業をしている気配がする。普通の事務所か、誰かのお宅にお邪魔しているような感じだ。それだけでもリラックスができる。

おまけに、施術しながら、先生が始終話しかけてくる。それも、深刻な内容は一切ない。

陽気のことや今日の出来事、たわいもない世間話ばかり。

エネルギーとはどのようなものかを感じて頂くため、話しかげずに実施する場合も多い。「お医者さんじゃ、なんていわれたの?」

「うーん、そうか」「なーに、大丈夫だよ」

施術時間の七割程度は頭部に費やされる。

「病気の大半は脳にストレスが掛かり悲鳴を上げている状態であり、また、脳は最も大事

な臓器であり、ガンもアトピー性皮膚炎も同じであり、その他の病気の場合も同じと考えられる」とのこと。

頭部優先の手がざし。その意味は、まもなくわかる。頭部の右側がジーンと強く圧迫されるような感じがして、それがジワジワと足先、手の先まで達したかと思うと、今度は左側のほうの頭部がふんわりと温かくなつてくる。

「なんだろう、この感じは……」

後で聞くと、先生は確かに意識して、左右の頭部に手をがざしているそうだ。
「天啓氣療を実施する際、よおし、治してやろうなんていう意気込みはないなあ。ちゃんと治るといいなあ。と軽く思うだけ」とのこと。

やがて、全身がしびれたような、深く沈み込むような感覚に身を任せ、もはや先生の問いかげに相槌を打つのも億劫になつてくる程のリラックス感が襲つてくる。その時分には、もう終了だ。

自然とのつながりに気づき、病から解き放される瞬間

フワフワと頼りない足取りで、待合室のソファまでたどり着く。

「どう？ 楽になつた？」と聞かれて「はあ」と曖昧に返事をする。

前述の男性と同じだ。お茶をいただき、フーッと息をつくと、気分が落ち着いてきた。確かに、楽になつたという想いだけは残る。

先生によれば、最初から楽になつたと感じる方やリラックス感を感じる方の場合、簡単に快方へ向かう場合が多いという。

身体の問題ではなく、それは心が楽になつたということ。心が解放されれば、身体はずと病を修復させようとする。つまり、元の自然な状態へ、チエンジする機会を得ることのこと。

うつ病の人方がとくにそうだという。何度目かの来院で、景色や時節の話をし出す。駅からここまで歩く道に、どんな建物があるか、どんな花が咲いているのか……。「ビルの前に、大きな木があつたんですね」など。その言葉は、毎回、先生の胸に深い感動をもたらすとのこと。

病に捉えられ、がんじがらめにされ、何も考えられなくなり、更には、何も見えなくなっていた人が、本来の拠り所を見出す瞬間である。固く閉ざされた外界との扉を、自らの手で開き、自分が世界と確かにつながっていることを知る。

そのとき、当然のように、生きていくことが不自然ではなくなり、病気からも解き放た

れていく。

「なんというか。自分であって、自分ではない。自分に対する事柄なのだけれども、他人事のように感じる。不思議なのだがそのような感覚になる」とのこと。

「病気だけではなく、経済的にも人間関係にも、自然界に現れたものごとは、なんでも楽に受け入れ、認めていくようにもなる」という。

「自分であって自分でない」とは、どんな苦難も、自分を見失うことなく見つめ、距離をおき、平常心で受け止められるとことだろうか？

病気の種類を選ばない 天啓氣療の真理

天啓氣療院には、うつ病をはじめ、脳性小兒麻痺、脳腫瘍、アトピー性皮膚炎、線維筋痛症、突発性難聴、網膜色素変性症、病名が不明な方々など、さまざまな病気に苦しむ人々が訪れる。

施術の頻度は、特別な事情がない限り、一週に一度と決めている。それは、好転反応と述べられる現象が現れるためである。一週間に一回では効果が現れないのではとの疑問が生じるが大丈夫。

それは、患者さん自身が持参する検査データや診断書によつても明らかになる。

深刻な空気はどこにもなく、この治療院に来ると、むしろのどかな気分にさせられるのはなぜなのだろう。

居心地のよい待合室は、患者さん同士の情報交換の場。受け終わつた人と、これから受ける人が、互いに声をかけ合い、数値が下がつたといつては驚き、喜び、安堵して、中には半日ほど休憩していく人もいるという。

天啓氣療は、病気の種類を選ばないし、治つていくプロセスも、変化のしかたもそれぞれだ。受けたときの表現のしかたも千差万別である。全身に微弱な電気が流れているようを感じるとか、上に引っ張られるようだとか、押し付けられるようだとか、痛みが掃除機でスーっと吸い取られるみたいだ、身体が消えたようだという人もいる。

いわゆる好転反応現象と思われる現象についても、感じかたはいろいろだが、弛緩現象が現れ、だるくなるという点は、ほぼ共通している。

天啓氣療を受けた当人の身体や心の変化だけではなく、他人にも影響を及ぼし、素晴らしい出会いや別れなど、生活環境の変化にまで及ぶ場合などもある。この件については、当人の心に余裕が生じるため、そのように感じるものと思う。

好転反応現象と思われる現象は、手かざしによる急激な変化に対し、バランスを崩し

た各臓器が、正常な状態に移行するために起つる現象である。だるくなるのは、弛緩作用により、緊張が解け、己をリラックスさせる。

やがて機能改善の糸口が見つかれば、遅くとも三～四日で治まつてしまつたが、そうした状態が辛くて耐えられないという人もいる。

とくに精神的な病気にて悩んでいる方の場合、不安になり絶望感に襲われたり、昔のいやな記憶がよみがえるなど、不安定な状態が一時的に出るため、家族の支えが必要だと先生はいう。

弛緩する現象は、快復において、とくに重要なだ。弛緩するとは、身体は勿論、心のリラックスそのもののことだ、確かに、好転反応と述べられる現象の中には、痛みなどが悪化したと感じたり、苦しみが増すような現象もあり、理解が難しいことも。

だからこそ、一回ごとの変化を味わい、本来あるべき自分の姿を見つめながら、そして、自然とは何か、健康とは何などを考えながら、回復を獲得して頂きたい。それが、天啓氣療の真理ともいえるのかも知れない。

治療できないといふことが、ガンの快癒を可能にする

都内に開業して十年余り。前述のように、最近は、治療の難しい病気を扱うケースがほとんどだ。圧倒的に多いのがガンである。乳ガン、大腸ガン、肺ガン、前立腺、甲状腺など、数え上げればきりがない。

それも、皮肉なことに、病院から見離されたケースほど治りが早い。医師も手の施しようがなく、何の治療も受けていないことが、かえつて快復を容易にする。

余命三ヶ月と宣告された前立腺ガンの人々が、わずか六～七回の天啓氣療で、ガン細胞が消滅してしまった例などもある。しかし……。

「抗ガン剤を投与されている人は難しい。抗ガン剤のエネルギーには勝てない」

（ご存知のように、抗ガン剤は、ガン細胞と一緒に正常な細胞も痛めてしまう。その不条理極まりない素行により、患者は壮絶な副作用の苦しみを強いられる。）

一方、天啓氣療は、細胞を闇いの不要なステージまで引き上げるというもの。自然のバランスを求め、生き直そうとして始まる好転反応と述べられる現象と、恣意的で闇雲な抗ガン剤による攻撃とは、真っ向から相反してしまうことになる。

体内で絶えず繰り返されるそのせめぎ合いに、耐え果たせる人はそう多くないのが実状である。北沢先生がどんなに励まし、勇気づけても、また、たとえ本人が楽になつたと感じていても、家族や病院、周囲が納得しないのだ。

もし、仮に好転反応と述べられる現象を乗り越え、快方に向かつたとする。すると、抗ガン剤が効いたと診断され、さらに強い抗ガン剤を投与されることになるのが現状のようだ。

手術も抗ガン剤も、いつそあきらめてくれれば、どんなにありがたいか。あるいは、その機が与えられないのも、運か、それとも縁というものか。

ある男性の氣療体験から生命の有り様を検証する

人間が生きている間に、自らの細胞を異体させてしまう病気が、ガンなどだ。では、生き始める前、あるいは生まれてもなく、苦闘を強いられる場合はどうか。

人間が生きている間に、自らの細胞を異体させてしまう病気が、ガンなどだ。では、生き始める前、あるいは生まれてもなく、苦闘を強いられる場合はどうか。

ここに、最も新しい氣療体験例を報告しよう。生まれつき歩行がおぼつかない、両足に

麻痺のある患者さんだ。北沢先生が、ぜひ話を聞いてほしいと望んだその人を、仮にXさんと呼ぶ。

七百七十gの極度未熟児として生まれたXさんは、生後三か月間を保育器の中で過ごす。医師は、助からない、助かつたとしても重度の障害が残るといったという。その際、通常では絶対にあり得ないことではあるが、死亡証明書を渡されたとのこと。「要するに、死んだほうがよかつたということでしょうね」

一歳半頃まで立つこともできず、ようやく立つて歩き始めても歩き方がおかしいということで、両親は心配し、病院や氣功術や氣功治療、氣功整体治療、中国氣功治療、医療氣功治療などの治療師、能力者などを求めて、全国各地を訪ね歩く。しかし、思うような成果を得られないまま四十余年。もう治らないとあきらめて過ごしてきた。

転機が訪れたのは、二〇〇四年のこと。亡くなつた父の後を継いで、三十代前半でスボーツ関係の事業経営者となつて五年余り、若さに任せ、半ば勢いで突っ走ってきたが、無理がたり、まず身体が悲鳴をあげ、心までも悲鳴をあげる。

重い胃潰瘍を患い、その痛みを紛らわすために、食事もとらずに酒を飲む。ついに肝臓を痛め、一時は重篤な状態に。これを機に酒は止めたが、ストレスにさいなまれ、食欲は戻らず、点滴だけで過す毎日が、二〇〇六年ごろに四か月間も続いた。

「とにかく身体が動かないんです。仕事中はなんとか気を張つていても、終わつたらすぐにおつ倒れていました。内臓も、もちろん足も腕も、最悪の状態だったと思います」
また、順調に展開していた事業も、さまざまトラブルが発生。その処理に追われるうち、折からの経済不況も重なり経営的にも低迷し始める。
どうすればこの苦境から抜け出せるかと暗澹としていた、まさにそのとき、北沢先生と巡り合う。

同じような境遇を、天啓氣療によつて改善させた知人の親身のすすめに、ふと心が動き、会食する前に立ち寄つたのが最初だつた。

「施術を終えた後、久しぶりにゆっくり食事をして、二軒目に誘われたとき、気がついたんです。あ、なんだか身体が軽い。楽に歩ける」と。

味わつたことのない感覚……「これは本物だ」

今まで、西洋医学は勿論、氣功や整体、鍼灸など、あらゆる治療方法を百ヵ所以上試したと思うが改善は全くしなかつた。二時間以上マッサージを受けてもすぐ元に戻つてしまつ。ひどいときには、疲れが腰や足にきて、眠れない夜もあつた。

ところが、天啓気療を受けた次の日も、その次の日も、全身をほぐされているようなく地よさが1日中続いた。

生まれてからずっと味わつたことのない感覚だった。「これは本物だ」。以来、約三か月。Xさんはどんなに忙しくても、週一回欠かさず北沢先生のもとへ通院している。

今までではすり足情態のため、少しの転んでいたが転ばなくなつた。痛みの方もすっかり取れて、すでに以前の三倍以上の歩幅で歩けるようになつた。

「仕事の状態とか気持ちのあり方とか、変わってきたのがわかる？」

北沢先生が聞く。

「変わりました。自分の身体が格段に動くようになったので、久しぶりに現場に出れるようになつた。その場合でも、以前とは比較にならないほど心が安定し、何事が発生しても冷静に対処することができるようになつた」

今まで人任せにしていた部分を直接采配することによって、現場の空氣も引き締まり、社員もアルバイトのスタッフも、テキパキと働くようになり、売り上げも上昇したという。私自身も今までの辛さから解放され喜んでいるが、妻の方は、もっと喜んでいるとのこと。それは、今まで毎晩真夜中に、足をもんでもくれと頼んでいたが、頼まなくなつたこと。

「それから、以前は身体のこともあり、投げやりになつて行動をしていたが、この頃は、起きたことに振り回されず、自分でコントロールできるようになりましたね」
「これからは、運も良くなるし、自分の思った通りに動いていい。大丈夫、もっとよくなるから」

脳性麻痺の人たちのピュアな魂に触れて

北沢先生は、これまでに何人も、脳性小児麻痺の患者さんを改善へと導いている。

身体全体が大きく変形して、横になつて寝ることもできなかつた男性は、凄まじい筋骨の動変を経て、真っ直ぐ仰向けに眠れるようになつた。

脳性小児麻痺の他に線維筋痛症を患い六年間苦しんだ女性は、三回目の天啓気療で痛みがすっかり消え、輝くほどに美しくなつたといふ。

「何故か脳性小児麻痺の人は、他の病気の方と違う。それは、自我そのものが汚れていなすことだ」

一つひとつ言葉を選びながら、インタビューに答える、Xさんの姿が思い浮かぶ。

生まれながらに身体に不自由を抱えている方の場合、無意識的に人生とはこのようないいことだ

のと自我そのものが認めるものと思われる。

そのため、不自由な肉体をもちながら、どんな試練に遭つても、真摯に生き抜く汚れない無垢のままの自我を育むものと考えられる。

「今まで手をかざした脳性麻痺の人は、皆そうだった。彼も自分自身で必ず気づく」とのこと。

生きる限りこの肉体とともに、その覚悟を秘めた気高い魂。彼らは、生かされていることの重みを、すでに知っているのかも知れない。

そして、天から授けられた光の力をもって、彼らのもとに本来の姿を返すとき、その心の奥底に湛える澄み切った泉によって、自身も清められることを、先生もまた、知っているのかも知れない。

Xさんのように、私達も、生かされていることに感謝の念を忘れてはいけないのかも知れない。

三 楽舎 「この悩みにこのヒーラー・占い師・氣功師」の転載

卓越した能力を全国の難病治癒に尽くす

とても人間業とは思えないほど強烈な能力を發揮する人が、まれに存在する。努力や修行では、とても到達できない域に達している名人もいる。病気治癒において、北沢勇人先生は、まさにその一人である。

突然、神の降臨と述べられている体験によって際だつた能力を与えられ、先生は求められるままに、その能力を提供して来た。

先生には高邁な思想や緻密な理屈はないし、患者を説教したり指導したりすることもない。パフォーマンスもないし、神秘的な演出もない。ただ、飘々と施術にあたり、人間本来の調和を取り戻し、病気の改善は勿論、運気向上や仕事力アップ、学力アップまでも不思議と実現してしまうのである。

何百万人かに一人の能力を得る

北沢先生が不思議な能力を授かったのは、今から16年ほど前、42歳の頃の話である。福

島で一級建築士として小さな企業を経営し、ビジネスに打ち込んでいた。さらに能力を開発しようと、脳波の一種であるアルファーワー波をコントロールする技術を身に付けるため、瞑想や呼吸法などの訓練をしていたと言う。

そんなある夜のことである。

寝ようとして布団に入り、電灯を消してから数分後のことだ。いきなり強い光が見えた。目をつぶっているにもかかわらず、目の前は勿論、周囲が様々な色に光輝いたのである。光は体内に入ったようにも思え、やがて、自分自身が強力に輝く光に包まれているようにも感じたと言う。それからと言うもの、不思議な体験が続くことになる。

体の中からも、外からも、不思議な音や声が頻繁に聞こえるようになった。目を閉じても光や映像が見えるようになる。さらに、体がしびれたり、振動し勝手に処かまわず動く、意思に反して声が出るなどがあった。

その健康補助食品のセミナーが東京秋葉原で開催されると聞き、上京する。その会場で呼び止められた。見知らぬ男性が「あなたには神様が付いている。後光が見える。オーラが感じられる。光に包まれている。大変な能力の持ち主に違いない」と言い寄つて来た。おかしなことが続くものだと思っていたが、その男性は「試しに手をかざして、病気を治癒してご覧なさい」とまで言う。この時点では、何の事なのか良くわからなかつた。

だが、その会場で、足が痛いという女性に、皆の前で手をかざしてみろといわれ、試しにやってみた。すると、あつという間に「治った」といわれ、周囲も自分も驚く。更に、宿泊先のホテルにも、足が痛いと訴える男性がいたので治療をしてみたところ、その場で痛みが取れてしまった。今までに聞いたことがない能力が身に付いたのか、と思つた。

言わても、見せられても、体験しても、簡単に信じることはできない。そこで、帰郷してから、寝込むことが多かつた義母に対し手かざしをしてみたら、義母は感激する。「手をかざしただけで、何でこんなに体が楽になるんだ。こんな気持ちのいいことが世の中についたのか」と言う。

どうやら、すぐに理解するには無理であったが、何かが変わったことだけはわかつた。

施術を提供するがバツシングも……

それから、設計業務や建築工事などのかたわら、具合の悪い人がいると、手かざしによる治療をしたり、癒したりするようになる。これがずいぶんと評判になり「無料では申し訳ない。お金を受け取ってくれ」と頼み込まれ、素直に受け取るようになる。

「あの頃は借金も残っていましたからねえ。助かりました」と笑う。

看板を掲げたわけではないし、宣伝をしたわけでもない。だが、評判が評判を呼び、またたく間に患者が急増した。

「これはすごい」と、病院関係者も多く集まる。看護師やその看護師から紹介された患者、病院職員、さらには何人かの医師まで訪問してくるほどであった。

いつのまにか、手かざしの方が本業になつてしまふほどの勢いであつた。ところが、こんなときほど意外な落とし穴がある。

「理由は定かではないが、急に悪い噂が立つて、北沢は詐欺だ、たちの悪い新興宗教だと騒ぎ立てるんです。子供までいじめに遭いましたよ」と、無念そうに語る。

福島で患者が激減したとき、紹介する人があつて、東京でも施術を行うようになつた。東京で施術を始めると、能力が際だつているものだから、すぐに患者が集まつてくる。だが、部屋を貸している大家がいやがつた。

「知つたかぶりの方の入れ知恵とは思うが、病気が癒えるとは、靈が外れるからであり、その靈が家に残つて他の住民が病気になつていくと言つんです。そんなことを訴える大家が多いんです」（北沢先生）。

立て続けに四回ほど引つ越して、やつと明大前に落ち着いた。この場所は、京王線と井の頭線を利用できる駅の近くにあつた。

ここに数年いたが、狭さに耐えられず別の場所を求めたが、やはり「手がさしはうさんくさい」と言われ、大変苦労したと言う。

数年後、同じような施術で病気が癒えた親切な不動産屋の担当者がいて、市ヶ谷駅付近に新たな施術院を開設できることとなつた。

気功などに優る天啓氣療の絶大なパワー

北沢先生は得られた能力による施術法を、天から与えられたと言う意味を込めて「天啓氣療」と名付けた。

施術方法は気功に似ているが、気功のように誰にでも簡単に得られる能力ではない。また、気功は古くから中国で理論が整えられ、現代科学でも実証研究が進んでいるが、天啓氣療にはそのようなものはないと思われる。

「キリストや仏陀も体験したと言っているが、チャクラの覚醒及びクンダリニーの上昇後に授かるもので、サイ能力とか超能力などとされているようです」と、先生は解説する。また、「おそらく、人が本来持つてゐる自然との調和を取り戻させることの出来る能力ではないか」とも語る。

実際、病気の種類や症状に応じて、施術法が変わるものではない。どのような患者にも、さらには、犬や猫にでも手をかざす施術法は一緒である。

なぜ天啓氣療に、病気を改善させたり、癒したりする力があるのか、どのように作用しているのか、本人も不思議なようだ。「よくわからない」と、福島訛りで正直に打ち明ける。ただ、「治癒できる」と言う事実だけがある。

そして、その治癒できると言う事実を求めて、医者から見捨てられた患者、末期癌患者、難病指定の患者、肉体的に悩む方は勿論、精神的に悩む方まで、様々な方が訪れて来る。施術も実にシンプルだ。まさに手をかざすだけだ。しゃべりながら行うこともあるが、それが催眠効果を發揮しているわけではない。

パフォーマンスもない、読経や祈りの声も聞こえない、靈障や邪氣などへの拘りもない。施術時間は約三十分前後を目安として実施と意外と短い。

「エネルギーが強すぎて、これ以上できないんです」と先生は語る。先生ができないのはなく、これ以上やらない方が無難とのこと。

この現象は好転反応と述べられているが、先生の手かざしを受けた場合変化が大きく、患者が耐えられなくなると言う。全ての方にではないが、著しい倦怠感、体が動いたり、奇声を上げたりする場合などがあるとのこと。

よくわからないのだが病気は確かに治癒できる。意識してやっているわけではないが、運氣も向上する。病気の改善だけに良き結果が現れるだけではない、仕事もできるようになるし、子供は成績がいきなり伸びると言う。

このような強大なパワーと、欲のない純粹無垢な先生を狙つて「大金をあげます。ぜひ教祖様になつてください」「アラブの富豪や王族をターゲットに商売をしましょう」「弊社にマネジメントさせて下さい」などの誘いが後を絶たないらしい。

取材記者の施術体験

それほどすばらしい能力ということであれば、誰もが施術を体験したいと思うに違いない。取材記者も例外ではない。

だが、幸か不幸か、記者はどこも悪いところがない。せいぜい、髪の毛が薄いぐらいのものだ。それでも、お願いして体験させてもらつた。

普段の服装のままベッドに横になるだけで、着替えるわけでもないし、眼鏡を外すわけでもない。先生も手をかざすだけで、呪文を唱えたり、とりわけ集中している様子でもない。相変わらず飘々としている。

世間話などをしながら、リラックスして施術を受けることができる。

先生は、ベッドの頭側に置いた椅子に座つて、頭部に手をかざす。5分ほどで顔がほてつて、赤くなつていくのがわかつた。そして、体がボーッとしまつと同時に、楽になつていいく。

「体が温かくなる人やひんやりしてくる人、じんじんしびれてくる人、いろいろいますが、共通しているのはボーッとしてしまうことです」と、手をかざしながら先生はしゃべる。記者の場合は体が熱くなり、細胞が沸き立つような、あるいは活性化するような状態になつた。

先生はいろいろ話しかけてくるのだが、答えるのがおつきうになる。舌がもつれるような感じだ。

やがて先生は立ち上がりつて、胸や腹、足などに手をかざして、ほどなく施術が終わつた。ふらつくほどではないが、体がひどくだるくなつた。

後からわかつたが、ここ数年来痛んでいた左肩の痛みが消えていた。知覚過敏の歯の痛みもなくなつていた。

脳性小児麻痺の治癒例

先生の記憶に残っている事例として、重い後遺症を引きずっている脳性小児麻痺の男性の例を紹介したい。

脳性小児麻痺とは、幼児期に脳が何らかの原因により傷つき、その後遺症として手足に麻痺などが現れる病気である。

天啓気療に訪れた男性は三十代。九州から飛行機で来ていたという。

膝から下が極端に細く、逆に腿や臀部、腹回りが異様に太い。膝が硬く緊張し動かしにくくなっていた。動かしにくくというより動かせなかつたのである。

このような状態だから歩くのもままたらない。互いの足がぶつからないように左右に思い切り振って、ゆっくり進まざるを得ない。

その足の指は内側に奇妙に反って、常に痛めており、腫んでいた。アンバランスな下半身のため、歩くことも階段の上り下りも通常のようにはできない人だつた。

もつとも手は普通に動く。そのため、設計を仕事としていたが、ひどい汗かきですぐに紙図面が汚れてしまう。また、下着を一日に何度も着替えていたともいう。

そんな脳性小児麻痺の男性は、治癒できることなどあきらめていた。しかし、先生のホームページを見て、ワラにもすがる思いで尋ねてきた。

「こりや、大変な人だなあとと思いましたよ」と、先生は振り返る。

施術の効果もあつたのだろう。施術中に手をかざしている間中、体全体が振動していた。手をかざしているだけなのに、手足が勝手に動き出す。それがいつまでも止まらない。

「そうですね、五分くらいしてから、どんな感じですかと訊いたんです。そしたらいきなり『うわ！ 足が動く』と、大声を出しましてね。どうやら、今まで自由に動かなかつたようですね」

実際、その男性は最初の一歩を踏み出そうとすると、そう念じてから実際に足が動くまで十秒程かかっていたそうである。それが、動かそうと思って、すぐ動いたから、これが大きな驚きとなつて叫び声になつたようだ。

これも奇跡的であるが、普通というには遠いにしても、その日のうちに、以前とは比較にならないほど楽に歩けるようになった。

また、施術の終了後「ああ、体がとても楽になつた」と男性はつぶやいたと言う。これは、後からの男性の父親から聞いた話である。父親は、帰ってきた息子を見て信じられなかつたという。

その日、東京へ行つた息子を、玄関先で待つていた。すると「背格好のよく似た男性が歩いてくる。似たような男性はあるもんだ。でも、その男性はうちの息子ではない。ちゃんと歩いている……とよく見たら、自分の息子でした」と感激したという。

その患者は一ヶ月に一回、八回ほど來た。来る度に改善されていく。例えば足の指が伸びる、汗をかかなくなる、階段の上り下りが完璧ではないが樂になるという具合だ。

汗もかかなくなつたから、图画も早くきれいに描けるようになり、昇進も実現した。驚くことに、この男性は結婚までした。二年ほど経てから奥さんを連れて先生のところへ挨拶に來たと、先生も感動している。

もう一つの脳性小児麻痺の改善例

特に宣伝したわけではないが、他にも脳性小児麻痺の例がある。

「沖縄からやつて來た男性の方です。船や飛行機を乗り継いで、三日がかりで來るんです」

この男性も施術中、体の震えや動きが止まらなかつたという。ガタガタと体が揺れ、ベッドがきしむほどだつた。

施術をしたその日は宿もとつていらないというから、先生のマンションに泊まることにした。客用の布団を敷いて横にさせたら、患者が驚く。

「横になつて眠れます。横になつて眠るのは、初めてです」と感激する。

聞くところによると、それまで男性は体が不自由で横になることができなかつた。座つてうつむいたままの姿勢になり、そこに布団を掛けてもらい寝ていたらしい。

この男性の場合、重い好転反応が出た。好転反応とは、施術後快復に向かうために現れる一時的な症状のことである。よくある例としてはだるい、眠い、痛みが増すなどがある。男性患者は沖縄に帰つてから、一週間程四十度前後の熱が出た。体の震えも続いた。だが、驚くことにその後男性は、以前とは比較にならない程正常に近い状態になつた。それまでは膝を付いて歩くことが多かつた為、苦労をしていたのである。

この男性患者も先生の施術で大幅に改善して、やはり結婚までしている。

「え？ 縁結びですか？ さてえ。でも、運が良くなるみたいですね。意識しているわけではありませんが」と、先生は笑う。

運気向上ばかりではない、運動神經が向上しゴルフコンペで優勝した、記憶力が良くなつた、英語弁論大会で入賞した、人間関係が改善された、コミュニケーション能力が付いた、上司の引き立てを受け昇進したなど、理解することが困難な事例はいくらでもある。

子供を連れてきたら、いきなり学校の成績が上がるので、親が驚いたこともある。

「倍率二百数十倍の企業に就職できた人もいました。転職の人でしたが、元々優秀だったんでしょう。五百点満点の試験で四百九十七点とて、神業と言わされたそうです。その人は、東大の大学院に合格し、会社から学費の提供を受け、勤めながら勉強をしています」理屈や催眠ではないから、ペットにも効く。「飼い主以外には絶対になつかない犬を連れてきた人もいました。興奮していた犬が急におとなしくなるのでびっくりされました」これほどの理解に苦しむ能力を持ちながら、先生は気さくで常にニコニコしている。不思議な人である。

解離性同一性障害および引きこもりの改善

「うつ病や引きこもりなど、精神的な病氣にも天啓氣療は効果があります」と、先生は語る。その一つ、解離性同一性障害の事例である。

若い女性である。原因ははつきりしていないが、成人近くになりストレスを感じたのか、自分以外の七人の人格が現れるようになった。

この病氣の悩みは、想像が付かない感情の変異面が現れる。赤ちゃんのように振る舞つ

たり、男性になつたり女性になつたり忙しい。

病院の精神科やカウンセリングを何度も受け、気功治療なども試したが、まったく改善がみられなかつた。これもあって引きこもり状態となり、就職もままならなかつた。

患者と両親と一緒に訪れ、天啓氣療を実施。すぐに精神的な面に変化が現れ、本人は勿論、両親も驚いていた。今日までのストレスが一気に開放された感じがするとも語つていた。

「精神的な病氣を抱えている人の場合、好転反応が激しいことが多いんです。この方の場合も、一回目の天啓氣療を実施した直後から、倦怠感と過去に悩んだ自分以外の人格が現れてきて、当時の恐怖体験のことが意識上に現れ悩んだと言つていました」

好転反応は、肉体的に悩んでいる場合には、肉体に現れ、精神的に悩んでいる場合には、精神状態に変化が現れるという。

この方が二回目の天啓氣療を受けに来たとき、見違えるほど表情が明るくなつていた。

二回目も前回同様リラックスし、全身の力が抜け倦怠感に似た現象が現れた。

このときも好転反応が現れ、過去に体験した現象が一気に吹き出てきたという。二回の施術で普通の生活ができるようになり、念願であった就職も当人の望んでいた介護施設に決まつた。

患者から寄せられた体験談

以下、誌面の許す限り、先生の元に寄せられた体験談（抜粋）を紹介したい。これらの体験談からも、天啓気療のパワーを伺い知ることができます。

狭心症の発作 五十年代（女性）

天啓気療にたどりつくまで、いろいろな施設にお世話になつていきました。一度の治療料金が高い（四万円）と効き目があると思い、何年も通院していました。しかし、ヒーリングを受けた後すぐに発作が起きたことがあり、他のヒーラーの方を探していました。

主人から「ホームページでばらしい先生を見つけたよ。一度内容に目をとおし、行ってみたら」とすすめられ北沢先生にお世話になることにしました。

先生は私の身体を見て「うん、二度で治るよ」とポンといわれました。内心「エッ長年の苦しみが？」と思いましたが……。

治療がはじまると、先生のパワーのすごさを実感しました。

先生は私の頭の上に手をかざすのですが、一分もしないうちに耳下の血管がドクドクと脈打つのを体感しました。

今までに経験したことのないエネルギーの強さです。先生はエネルギー（氣）を強くすることも分散することもでき、私の身体の中の動きも感知のできる方でした。

狭心発作も天啓気療を受けた後再発はしていません。ひどいときは週三回の発作で苦しんでいたので、今はとても幸福です。

無理して仕事をしても不安もなくなり充実した日々を送ることができます。

脳性小児麻痺と線維筋痛症

私は、生まれつきの脳性小児麻痺です。

今までは、健常者と同様普通に生活をしておりましたが、五～六年前から全身に激痛を伴うようになりました。

仕事もできず、風が体に触れる、呼吸するだけでも激痛が走り、不眠、食欲不振の生活を送っておりました。

大阪、名古屋、東京と有名な病院へ行きましたが、いろいろな検査をしても異状なしといわれ門前払いでした。病院めぐりも、三年経つた頃ある病院で、線維筋痛症ではないかと診断を受けました。

線維筋痛症も厄介な病気で、当時は日本の医者もほとんど知る方はいませんでしたし、どんな検査をしてもひつかからない病気でした（治療方法がないことで自殺者が多い）。

初めて北沢先生にお会いしたときは、暖かいエネルギーに包まれ体がポカポカしました。脳性小児麻痺ということもあり全身が激しく動きましたが、治療中に痛みが軽減したので、北沢先生がおっしゃっていたことは本當だと思いました。

三度目の治療で痛みがまつたくなくなりました。あんなに苦しかったことがウソのよう

です!! また、まわりの方に、肌がキレイになつたねとよくいわれるようになりました。

病名にまつたく左右されない天啓氣療もすごいのですが、一番、北沢先生の人柄に触れてみて欲しいと思います。

本当に、お釈迦様のように暖かい方です。

病気だけじゃなく、心も元気にしてくださいます。

脳腫瘍の手術からの回避 五十代女性

私は以前に検査入院中、外泊の度に天啓氣療を受け、手術前のMRIで脳腫瘍の大きさがどう変化しているのか公表すると約束していた五十代の主婦です。

手術を一か月先に延ばしてもらい、天啓氣療を週一回の割合で受け続け、四回目が終わつたときからです。頭痛という苦しみから解放されたのは!

痛み止めの薬を飲んでも、一時的にしか利かず、手術しか方法はないとあきらめていただけに、とても幸せな気分になりました。

その後も、もう一回の計五回、天啓氣療を受け、手術のために入院しMRIや検査をすべて終え、手術前日も最終説明を家族全員と受けたんです。

目の前にした数枚のMRIの画像を食い入るように診ていた主治医の、最初の一言は……

「……手術は中止です。腫瘍が消えてなくなっている!」

手術で取ろうとしていた部分のみがきれいに、見事に消えていたのです。

私は、嬉しさと驚きで膝が震えていました。

一番驚いたのは、私よりも主治医だったと思います。

薬の治療では3割の効果はあっても消えてなくなることはまずありえない、手術しか方法はないなど常々断言されていましたからです。まさに恐るべし北沢先生です!

ていることは紛れもない事実であり、早急に対策が必要と考えられます。慢性疲労症候群では、日本国内においての経済的損失は、年間約一・二兆円と想定されていますが、それを参考として計算をした場合、線維筋痛症患者における経済的損失は、年間約十二兆円になることになります。

これまで、患者が痛みを訴えてもそれを具体的に伝えることは困難だったのですが、二〇〇七年に株式会社ニプロが「ペインビジュン」という電流知覚閾値検査装置を発売しました。これは、痛みに似た感覚を作り出すことができる電気刺激を患者に与えることによつて、患者の痛みを数値化し、グラフとして提供する装置です。

この検査装置によつて、これまで医師に伝えることが難しかつた痛みの度合いが数値化・視覚化されることにより、患者が感じる痛みの量を患者と医師が共有したり、それによつて患者の心理的負担が軽くなることなどが期待されるようになつたのです。しかし、この装置を置いている病院はまだ少なく、フェイススケール（痛みによる表情の違い）等に頼つているのが現状です。

VI 線維筋痛症の改善事例集

【線維筋痛症は治らない病気ではない】

以前にも同様の事柄を述べていますが、線維筋痛症は長年にわたって病気とは認められず、患者は、精神的、肉体的苦痛に苦しんできました。しかも、現在に至るまでこの病気は原因もわからず治療法も確立していない為、改善の見込みがないと言われています。ところが、原因が分からず改善が難しいと言われる線維筋痛症に対しても、天啓氣療が絶大な成果をあげています。確かに、改善しにくい方も存在しますが、ほとんどの方は、わずか数回の天啓氣療で簡単に改善してきます。

通常、線維筋痛症に悩まされるようになった場合、原因がわからないまま体に激しい痛みが続きます。その痛みは軽度から激痛までありますが、耐えがたい痛みが多いようです。痛みの部位が移動したり、天候によつて痛みの強さが変わつたりして、日常生活に支障をきたすことが多く、重症化すると、軽い刺激（爪や髪への刺激、温度・湿度の変化、音など）だけでも激痛が走り、自力での生活が困難になります。

また、こわばり感、倦怠感、疲労感、睡眠障害、抑うつ、自律神経失調、頭痛、過敏性腸炎、微熱、ドライアイ、記憶障害、集中力欠如、ストレスレッゲス症候群などがとも

なうこともあり、症状には個人差があります。リウマチや膠原病を併発するケース、痛みによつて不眠となりストレスが溜まり、それがまた痛みを増強させるケースもあります。ただ、線維筋痛症にはまだ特効薬がなく、普通の痛み止めが効かないことが多いので、脳内の痛みをコントロールする向精神薬の服用が主流になつています。

この線維筋痛症は、一般的な治療では確かに改善しにくくされていますが、天啓氣療を実施した場合、わずか数回で改善に向かっています。しかし、素直に信じてくれない方が多いのも事実です。なにせ、線維筋痛症に悩んでいる本人は勿論、ご家族、そして医学に精通する医師でさえ「改善や正常な状態に近づくことなど絶対にあり得ない」とかたく信じているのが現状です。

ましてや完治など、全く考えられないことでしょ。しかし、天啓氣療によつて素晴らしい効果が表れていることも事実です。

例えば「私は線維筋痛症で、六年ほど前から体全体に激痛があります。もし少しでも改善しなかつたら、帰り途中でまた激痛が起きたかも知れません……」と訴え、何度も何度も心配していた方が、一回の天啓氣療を受けただけで、帰りには痛みを感じなくなつたこともあります。

また、二十数年間にわたり全身に激痛があつた方の場合も、一回目の天啓氣療後に改善

の兆しが歴然と表れました。

線維筋痛症とうつ病に悩んでいた方も、一回目の天啓氣療で線維筋痛症は勿論、うつ病にも改善の兆しが表れたのです。

これから治療例では、改善しにくい方も出てくることも考えられますが、現在までの経験では、全ての方に良い結果が表れていることも事実です。

【精神的な悩みと線維筋痛症、発症の要因は表裏一体】

以前にも同様の事柄を述べていますが、私の経験から言えば、線維筋痛症が発症するきっかけは、精神的ストレスであり、そのストレスを解放しなければ改善は見込めないものと思います。だからこそ、医学的手法や薬剤、リハビリなどの運動、気功治療、鍼治療などでは改善しにくいのです。改善しにくいと言うより、改善しないのです。

線維筋痛症を改善に導くには、精神的悩み「うつやひきこもり」などの症状を改善させる能力が必要です。気功などで用いる気の次元（エーテルエネルギー）の場合、肉体に働きかけるのには有効です。しかし、精神的悩みを改善させるのには無理があります。それは、精神的悩みを開放させる為には、高次元のアストラルエネルギーとかカラーナ

エネルギーでなければ共振させることは不可能だからです。よって改善は望めないです。

線維筋痛症が発症する原因をチャクラとの関連で言えば、一般的には太陽神經叢と呼ばれる第三のチャクラで、へその周辺部にあるマニプラチャクラと関係しています。このチャクラの働きは、消化器系臓器、とくに胃系や脾臓系のコントロール、感情、想像や心のありかたのコントロール、外部からの様々なエネルギーに対する超感覚的コントロール、視覚のコントロールなどが特徴として挙げられます。

マニプラチャクラが覚醒すると、前記の機能が格段に洗練され活発な活動をします。と同時に、外部からの様々なエネルギーに対する超感覚的機能も増すので、感情が豊かになりますと共に、心のあり方が不安定になります。

その為、妄想や空想といった混乱が生じる場合があります。また、心の不安定に伴つて、線維筋痛症やアトピー性皮膚炎などとして肉体に表れることがあるのです。更に、他の方が発する感情的エネルギーに反応し、自分には関係がないにもかかわらずそれを自分への精神的重圧と受け止め、パニックを引き起こし、精神が不安定となることがあります。また更に、他の方から見たらなんでもないことを必要以上に重大に受け止めてしまう場合もあります。

出産などの肉体的・精神的ストレス、事故や手術が引き金となる場合もあります。様々

な現象の中に潜む痛みなどに対して極端に反応が生じ、パニックを引き起こしています。それこそが、線維筋痛症の痛みの根源であり、原因と思われます。

精神的な悩みや線維筋痛症などで来院される方のほとんどは、このチャクラがある程度活動しているか、外部からの様々な圧力的エネルギーによる影響を受け、感情や心の安定が得られない状態になっています。そのため細なことを勝手に想像し、その事柄に対して反応し、ストレスをつくり出している場合が多いのです。ですから、改善させる為には、精神的にリラックスさせる必要があるのです。だからこそ、西洋医学で使用する薬などでは改善が期待できないのです。また、気功治療やレイキ治療などでも次元が低いので魂（心や心情）に対する影響は限られますので、精神的な要因にて引き起こされた線維筋痛症の改善は難しいのです。

【素直さがあれば、改善は早い】

精神的に悩みを抱える方や線維筋痛症の方の場合、幼少期に様々な形で受けた虐待やいじめなどの影響が多くあり、そういう方には、天啓氣療の際、過去にあった事柄を思い出し、涙を流す場合が多いように感じます。素直に涙を流した方は、様々な悩みから解放さ

れ早期に改善いたします。つまり「涙を流せる素直さ」があれば、改善が早いのです。

私は、過去に虐待などを体験している方に對して「貴方をいじめたりする方もまた、だれかをいじめて、憂さを晴らさなければならぬほど環境に恵まれず、かわいそうな方だつたのですよ。過去やその方を認め、許して、貴方は絶対に同じことをやつてはいけません」と諭しています。この言葉の意味を受け止め受け入れることにより、即座に快方に向かうのです。過去を認めず許せずにいると、様々な得体の知れない恐怖に襲われ想像もできないほど苦しむことがあります。

許すというこの件は、一見むずかしそうに感じるかも知れませんが、私は「認めることは許すこと」と考えてもよいと思います。それは、素直に受け入れる行為であり、それほどむずかしくはないのです。

例えば、過去に、このようなことがあつた、と、笑つて認めればよいのです。それだけで、認め、許したことになるのです。とは言うものの、現実には、簡単には認めることができず、悩んでしまう方がほとんどです。その為、好転反応と呼ばれる現象にも悩むことになるのです。

幼少期の虐待やいじめがないケースでも、現在の生活環境において、同じような外圧的エネルギーがストレスを生み出しています。離婚や恋愛の失敗、仕事の失敗、生活上の失

敗だけでなく、些細な噂話でも影響を受ける場合があります。先述したように、自分自身でつくり出した想像の産物もまた、ストレスとなっていますので注意が必要です。

【線維筋痛症の改善事例集】

私の元にはたくさんのお客様がくださった体験談やメールがあります。実名の公開について了解を得た方もいらっしゃいますが、本人のプライバシーも考慮し、名前は伏せました。住まいを特定するような駅名なども、実際の場所と関係のないアルファベットにしてありますので、ご理解を頂ければ幸いです。

私の場合、チャクラが覚醒してクンダリニーが上昇している為、特殊なヒーリングの能力を発揮できます。その為、病気の種類に左右されず改善するところが私の能力の特殊性であり特徴です。よって、常識では全く理解できない改善例ばかりであり、これは本当かと疑いをもたれてしまうくらいです。

今後、貴方が当院においてになつたとき、本書に紹介した本人、ご家族、紹介者にお会いする機会があるかも知れません。もし、お会いした場合には、遠慮なく質問していただいて結構です。ただし、必ず相手の了解を取つてから聞くようにしてください。また、相

手のイヤがる質問や不快な感情を抱かせる質問をしないように心がけてください。

病気を患っている方の中には、改善しやすい人、改善しにくい人がおります。ですから、必ずしも貴方が、この事例集と同じ効果を得られるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

ここに記載した事柄は、現実であり真実のみを書き表しています。つまり、自画自賛ではありません、この点、誤解なさらないで読み進めて頂ければ幸いです。

◇薬を飲んでもますます痛みが増して悪化した線維筋痛症が改善

線維筋痛症からの開放 女性四十年代

天啓氣療院 北沢先生へ

いつも大変お世話になっております。私の体験談を書かせていただきたくお手紙を書かせていただきます。

昨年六月頃より目の激痛、首の後のつけ根あたりの強烈な痛みから始まり十月には、と

つぜん首と肩の強烈な痛み、猛烈な吐き気、背骨の痛み、全身のしびれ、血圧が高くなり、呼吸も浅くなり、その症状が毎日続くようになり、どこの大学病院に行つて検査をしてみても異常なし、原因不明といわれてしまい、やつと最後の病院で線維筋痛症であるとの診断を受けました。

薬を飲んでも良くなるどころか、ますます痛みが増して悪化し毎日痛くて痛くて一時間も眠れない、しかも、夜中に何度も起きる日が続いたため死ぬことばかりを考え、やつとの思いで暮らしていました。更に、熟睡が出来なかつたからと思うが、体重は一年で十四キロも落ちてしまい、だるくて何もできない状態でした。

その時、いろいろ調べていると、北沢先生のサイトを見つけワラをもつかむ思いで先生の治療院に電話をし、その日の午後に天啓氣療をしていただいたところ、初回から肩の激しい痛みが、あんなに毎日続いて辛かつた痛みが軽くなつてきたのです。

天啓氣療の回数を重ねることにあの激しい痛みは無くなり食欲も出て、毎日あつた吐き気もなくなり大変感謝しております。また、高血圧、目の痛みなども安定し、びっくりするぐらい今は元気になることが出来ました。更に嬉しいことに、安い化粧品を使つているにもかかわらず十八歳の子供と何度もまじめに間違われたこと。きれいになつたね。若いね、と。最近よくほめられることが多くなりました。凄いです。

一年前から始まつた原因不明の激痛があつたことはだれにも信じてもらえませんが、これが事実です。様々な激痛から開放されたこともまた事実です。原因不明の病気などで悩んでいる方、特に、線維筋痛症で悩んでいる方は先生の絶大なるパワーを信じて天啓氣療を受けていただきたいものと思いベンを取りました。

けつしてあきらめないでください。先生は本物のパワーの持ち主です。先生、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

◇家族に対しても殺してくれと懇願する程の痛みが数回で改善

線維筋痛症 女性 四十八歳

この方は、長年線維筋痛症の痛みに悩んでいたのですが、激痛が襲つてきたときには我慢の限界を超え、家族に対して自分では体の自由がきかないし改善の見込みが無いそうなので、殺してほしいと懇願したほど苦しんだと述べていました。その方の体験談です。

〈本人の体験談〉

私は子供の頃から、いつもあちこち痛いと言っていた事を思い出します。それが「線維筋痛症」の始まりとは知らずに…

初めは「リウマチ」の気があると訳のわからない診断でした。手首から腕が痛くて、紙一枚持つのもつらかたのが三十代の初め頃。

薬を飲んでも良くならず、その時は野菜食のみを続けてなんとか良くなつたのです。それから時々足や腕などが痛くなつても、動いていると気にならなかつたので一日中良く動いていました。

四十代になった頃から、足全体がとても痛い日があり、歩くのもつらい日がありました。朝起きると、体全体がこわばり固まつてしまい、すぐに動くことができなくなつてきましたのです。それでも動いていると大丈夫だったのに、病院には行きませんでした。

ところが、四十五歳の頃からがまんが辛い程の痛みができるようになつたのです。整形に行つても湿布と痛み止めの薬を渡されるだけで異常なしの診断でした。

この頃から何かおかしいと本気で思い始めました。それでも忙がしく仕事をし、毎日走りまわつていたのでそのままの日々を過ごしていました。そして今年の春頃から、今まで

経験したことのない激痛が一日に何度もやつてくるようになつたのです。やはり「おかしい」と思い、ネットで痛みの検索をし「線維筋痛症」という病名があてはまるということにたどりついたのです。

それから専門医を探し、通院しました。色々な検査を行い「線維筋痛症」の病名をはつきりと告げられたのです。治らない…、そんな情報ばかりでした。そして病院では精神薬、うつ病の薬ばかり増量されました。

それでも最初は痛みが治ればと思い飲んでみましたが、痛みは増え激痛になり、思考力も奪われ、自分が廃人になつてしまふのではないかと恐怖感でいっぱいになつてしまつたのです。何か他の方法を探さなくては、このままの治療では意味がないと強く思ったのです。

起きいていても寝っていても、座っていてもとにかく痛みが襲つてくるのです。歩く事もできなくなり、活動的だつたなんて大嘘つきのように誰かに頼らなければならなくなりました。私は介護の仕事をしているのに、介護を受ける側になつてしまつたのです。

「あきらめるな！」生きる希望を失いかけていると「何か絶対にあるはず！ 絶対にあきらめるな！」自分の心がそう言って背中を押してきました。その声に、なんとかしなくてはと、またネットで検索を始めました。そして開いたページに、北沢先生の「天啓氣療」

の文字と写真に出会ったのです。

「これで治るかもしれない。絶対によくなる。きっと」。なぜかそう思えたのです。

以降はそれからの私の体験です。

一回目 頭に二十分 足からゆづくり上半身まで二十分程度で終了。

始めてすぐに右腕から肩まで（指先から首のあたりまで）激痛あり。終了した途端痛みは消える。不思議な感覚あり。ボーッとし、不思議な感じあり。帰り道。今までの食欲の無さがうそのようにしつかり昼食を食べる。

帰宅後はいつもの痛みあり。次回の療法まで体が重く痛みあり。いつも激痛があつたのに痛みの度合が全然違い、一日がとても楽でした。孫となんでもない事でよく笑つたり、愛犬の散歩をする。歩けなかつたのに、十五分程度だが快調。あきらかな変化がある。

二回目 とてもだるい。夜には激痛あり。また歩くのがとても疲れ、耳なりが増す。気持ちちはとても落ちついている。

三回目 頭、なんとなく前回より脳で感じている。足（もも・ひざ）腕に痛みあり。確実に痛みの度合いが軽減されている。

四回目 ほぼ痛みが無。信じられない。本当に今までの痛みの1／5くらい。うそ…。施術後、痛みは軽減されているのに、とても不安な気持ち。心が落ち着かない。

五回目 不安な気持ちのまま。痛みは軽減しているのに不安ばかり。帰宅後夕方から高熱。五～六時間で下がる。なぜかすつきり。翌日午前も発熱。昨日より高熱。三十九℃。やはり五～六時間で下がりすつきり。痛みは、本当に軽い。痛む箇所も右腕のみ。

六回目 右肩つけ根のあたりは、負荷をかけると痛むが、ほぼ普通の生活。着替えも洗髪も自分でできる。そろそろ仕事もできるかも。

八回を受け、仕事にも復帰し、とても幸せな気持ちでいます。

正直「殺してくれ」とまで思う程の痛みから解放されて、これから的人生、今までの人生をちゃんと考えられる幸せはこの出会いがあつたから。

はつきり伝えられる事。「線維筋痛症」は心の痛みです。一生懸命生きている方の痛みです。この痛みに耐え、解放された時、人としての生き方がわかるはずです。どうか、一日でも早く、北沢先生の元において下さい。必ず、必ず良き人生が見えます。出会う事で痛みとはさよならしましよう。自分自身を信じて下さい。

以上私の継続中の体験談でした。

◇直前まで歩く事も出来なかつたが一回の天啓氣療で歩けた

線維筋痛症 女性 四十四歳

「この方は、長年線維筋痛症の痛みに悩んでいたのは勿論ですが、激痛が襲つてきたときには我慢の限界を超えて、全く体を動かすことができず、旦那が仕事を終え帰つてくるのをひたすら待ち続ける生活をしていましたと述べていました。その方の体験談です。

〈本人の体験談〉

私の場合、体の痛みを感じ始めてから線維筋痛症と診断されるまでの間に、数年程は過ぎていたと思います。その間にも症状が進み、自分の身のまわりの事が日に日に何も出来なくなり、家族共々何をどうして良いのか途方に暮れる日々でした。

何十件と病院へ行き、沢山の医師にも相談をしましたが、結果「原因も分からず治療方法も無い」との事でした。これから先は「病気と上手く付き合つて生きて下さい」だけでした。

その間、やはり、痛みの波はあり、家族がインターネットで線維筋痛症を調べてくれ、天啓氣療、北沢先生に辿り着きました。もちろん家族は動画を見ていて、半信半疑でしたが、何気に私自身、一緒に見ていて本人しか分からない様な、心や気持ち、又、体の状態をぴつたりに言っていたので、もう、今すぐにでも藁にもすがる思いで、泣きながら家族にもすがつて、治療時間外（夜中）に、天啓氣療と出会つたと記憶しています。

歩く事も出来ない程、病状は進んでいたので、夜、パジャマのまま、もちろん髪はボサボサのまま、家族に抱えられ、杖を使いながらやつとの思いで治療院へ辿り着きました。初回の治療では、沢山の病院で匙を投げられたこの病気に対しても、どの様な事をするのかという、不安と、緊張で、全身強張っていました。

ベッドに横になり、北沢先生のとても暖かな手が私の体に近づくと、全身の力が抜け震え出し、涙が止まらず、不思議な感覚を体験した事を覚えてています。又、北沢先生の「あなたは簡単に治りますよ」の一言が嬉しくて、私の人生をやり直せると思つたら、又、涙が止まりませんでした。

初回の治療の後、歩く事が出来なかつた体が、杖を使いながら自分の足で歩けたのも忘れられません。又、その夜、自宅へと戻り、不思議な体験を何度かしますからと言われ、意味が理解できず、そのまま眠りに付くと、過去の出来事や心に引っかかつていていた事、思

いもしていない事など沢山、不思議な、夢の様な、現実に体感している様な事が、数日続き恐怖でたまりませんでした。それと同時に、体、病状は日に日に動ける様にもなり、出来る事も増え、少しずつですが笑う事が出来るようになりました。

私の場合、改善が早かつたのか知れませんが、一週間に一度のペースで、六回程の治療を受けました。やはりその間は、不思議な事は続きました。そして今現在では、病気になる前の様な生活を過ごせています。

仕事も出来て人の温かさを感じる事が出来る様にもなり、あんなに悩んでいた痛みが僅か数回の治療で改善するなど夢にも思いませんでしたが、実際に痛みはないし、何事に対しても、前向きに過ごせるようになり、今となつては線維筋痛症になり、天啓気療、北沢先生との出会いを心から感謝しています。

今までの私の生き方を、改めて見直す事が出来た様な気がしています。辛く、苦しい日々を無駄にしたく無いという気持ちで毎日大切に生きようと思える様になりました。

現実的な病院での治療も大切なことは思いますが、それだけでは無いという事も、実際に、あるのだと、私が実際に体験させて頂きました事を忘れず、全てを大切に過ごしたいと思っています。

◇激痛に悩まされ留年を余儀なくされた青年が改善

線維筋痛症 男性二十代

この方は大学生であり、単位を取り就職活動をしなければならないのに、学業どころか直接を受けるのも、線維筋痛症による痛みによりあきらめていた方の体験談です。

〈本人の体験談〉

天啓気療院 北沢勇人様

京都在住の○○○○です。

いつもお世話になっています。

今朝、不思議な感覚があつたので、報告しようと思い、メールを致しました。

一週間前は天啓の治療をして頂き、有難うございました。
お世話になつてから好転反応が続き、ぐつと楽になつたなど感じていた時です。

瞑想をして、ちょっと気持ち悪いなあと感じながら寝ていたのですが、とても眠りが浅く、四時間ほどで起きてしました。

すると、耳鳴りが止まらなくなってしまい、急にお腹が焼けるように熱くなつて気持ち悪くなりました。

そして、その時にまた眠気が来て、北沢先生に手かざしをして頂いている夢を見て、再度起きました。

すると目やにや目の渴きが凄く、どつと倦怠感に襲われ、またすつと楽になりました。

これも好転反応なのかなど日々感じております。引き続き東京の方でお世話になると思いますが、今後とも宜しくお願ひします。

それでは、失礼いたします。

ここからは二回目に送られてきた体験談になります。

○○○○と申します。

天啓気療を受けて、線維筋痛症が改善し、さらに様々な体験をしたので参考になつたらと今は書かせて頂きました。

一回目の治療で、身体がビリビリポカポカってきて、三十分経つた頃には肉体的にも精

神的にも楽になりました。それからの一週間は眠くて、眠くてしようがなかつたです。

一回目の治療も同様に身体がビリビリしてきて、楽に感じられました。

その時に同じ線維筋痛症で悩んでいらっしゃる方から天啓気療院に電話があつて、その方に先週のことをありのまま伝えました。すると、その方はその日の夜に天啓気療院に来て、劇的に改善したようです。

三回目～八回目ぐらいはビリビリよりも身体が重くなる感じの方が強く、好転反応がとてもきつかったです。この時ぐらいから家族の夢を見るようになり、特に父親の夢を見るようになりました。

そして、七回目の治療の時にそれを北沢先生に伝えると、涙が溢れ出てきたのを今でも覚えていいます。ここで、先生に「受け入れなさい、許しなさい」と言われたことを考え始めます。

九回目～十二回目ぐらいまではさらに悪くなつた気がした時期でした。この頃も家族の夢を見ると共に、別れた恋人の夢も見るようになりました。私はあの人が好きだつたのだなあと。本当に好きで好きでたまらないからこそなのかなと思いました。

十三回目～十七回目の治療を受けたところで、受け入れるつてどういうことなのか分からなく、彷徨つて精神的に落ち込んでいた時期でした。それと同時に自律訓練法の瞑想

を先生に教えて頂き、自分に目を向けるのではなく、周りの人々に目を向けてみると良いと教えて頂きました。でも、この時はその意味がまだ分かっていませんでした。

それから一週間後ぐらいに精神的にも肉体的にも参った時期がありました。その時に、三回目の治療で出会った方と電話をして、自分の話を聞いて頂いて、受け入れるという意味が分かりました。それは自分の感情に素直になることです。すると、とんでもない量の涙が溢れ出ていきました。電話中に泣いてしまったのを覚えています。

それから、自分が信頼している母親に電話をしたらさらに泣いてしまいました。もう泣きじやくりです。それから、言葉では分がらないです、妙にそわそわして眠れない時期が続きました。そして、ある日のことなんんですけど夜中に大切な人のことをふと考える時期がありました。すると、また涙が止まらなくなりました。

自分の幸せとは自分の大切な人が笑顔になつている時だなあと。私が線維筋痛症になつたのは大切な人の笑顔を守れなかつたからなのかなと。そんなことを考えながらいると、急に眠くなりました。そして、その次の日に北沢先生に電話したらまた涙が出ました。涙が溢れ出たのを報告したくて電話したのを覚えています。そして、この時期ぐらいに気づきます。

私は涙が流したかったのだと。泣きたい気持ちを抑え込んできたと。そして、泣くたび

に気持ちが楽になると。そして、人の痛みについて考え始めました。自分は人を傷つけるのではなく、たくさんの愛情を注いであげたいと。今考えると、泣くたびに精神的にも肉体的にも改善がぐんと伸びたと思います。そして、大切な人のことを考えると泣けますし、すつきります。

私はどこかで泣くことが怖かつたです。向き合いうことが怖かつたです。それほど自分の過去を抑え込んでいたのです。でも、自分に正直になつて良いです。誰でもきつい時は泣いて良いです。自分の心と身体を解放してあげて良いです。特に男の人は泣くことに慣れていらない方が多いと思いますが、思い切って解放してあげてください。

これが私が天啓気療を受けて学んだことです。

◇歩くのがやつとの痛みが、帰りには容易に歩けるほどに

線維筋痛症 男性 三十代 会社員

線維筋痛症の辛さをお客様に聞くと「自分の脇をだれかが通り過ぎたときの空気の動き

でも、激痛を感じる」「横断歩道で信号が替わっても、渡りきれない」とのこと。これでは仕事など、とても無理だと思われます。

この男性は、線維筋痛症に悩み、六か月の間に異なる医療機関へ四回も入院をして治療をしたもののが改善せず、途方に暮れた末に来院したのです。三回ほど天啓気療を受けました。

初回の天啓気療から一か月後に届いたメールを紹介いたします。ただ、文面を拝見すると、信じられないことばかりが書かれているように感じますが、当人が書いているものであつて、私が修正をして書いたものではありません。

〈本人の体験談〉

昨日で先生の天啓気療を受けてから一か月が経ちました。今日までの体験を書かせて頂きます。

昨年の秋ごろから発熱、嘔吐、腹痛などの症状が出始めたのですが、ちょうど新型インフルエンザが流行りだした時期だったので、最初はたんなる風邪か、新型に感染したものと思つていました。しかし、検査をしても「感染していない」とのこと、数日間自宅療養しましたが、体調は全く回復しませんでした。

結局、昨年秋から今年春までに五か所の医療機関に行き、検査や入院をしましたが、原因は見つかりませんでした。そんなとき、父がたまたま、テレビ番組で私の症状に似た病気をとりあげているのを見ました。そこではじめて、纖維筋通症という病名を知りました。インターネットでいろいろ調べてみると「線維筋痛症に治療法はない」というような書き込みもあり、一度はすごく落ち込みました。が、いろいろと探しているうちに、先生のホームページを見つけました。

正直なところ、最初は疑つてしましましたが、Q & A や実際に気療を受けられた方の体験談を見ると「これなら治る!」と思い、親とも話しあつて天啓気療を受けることになりました。先生に電話してみたところ「それなら三回ぐらい来てもらえば治りますよ」とのことでした。予約を取った日から天啓気療を受ける日まで、一週間ぐらいありましたが、痛みに耐えながらも「天啓気療ってどんな感じだろうか」とドキドキしていました。

気療を受ける当日、予約の時間が午後三時すぎからだったので、自宅を午前九時半ごろに出て、父の運転で A 駅に向きました。駅の駐車場に着いてから十五分くらいかけて歩き、ようやく新幹線のホームに着きましたが、痛みでふだんよりも遠く感じました。三時間半かけて東京駅に着き、痛みにより電車の乗り換えが辛いのでタクシーに乗りました。

天啓気療院がある日本テレビのビル付近まであまり時間はかかりませんでしたが、痛み

が断続的であり、やつとの思いで先生のところにお邪魔しました。待合室で三十分くらい待ち、先生に呼ばれたので、緊張しながら治療室に入ると、ベッドが二つあり、仰向けに寝て、いよいよ天啓気療が始まりました。目を閉じて寝ていると、まず、ずっと痛かった右のお腹がしびれできました。次に、足や手がしびれてきて、同時に体が嘘のようにラクになりました。

先生に「いろんなところがまいくつですか?」と聞かれ、内容は言えませんでしたがが、私は正直に「精神的にもまいくつています」と答えると、先生はすでにわかつていたようでした。私が「先生、分かります?」と聞くと「そりやわかるよ」と答えてくださいり、私はとても明るくなれました。

天啓気療が終わり、立つてみると、思ったよりも身体がしびれて感じていていましたが、すごくラクになっていました。先生達とお話をしたあと、帰路に就きましたが、来るときには食べられなかつたご飯がすぐに食べられました。

A駅に着くと、朝歩くのに苦労した新幹線のホームと駐車場までの道のりが、なにごともなかつたかのようにスムーズに歩けました。これには、迎えてくれた父も驚いていました。その夜から、私の身に好転反応が起こりはじめました。体がしびれながらすごく温かくなる現象が表れました。なぜか、父も身体がしびれる好転反応を体験したようです。

翌日からは、痛くなつたり、しびれたり、ラクになつたりといふ感じで好転反応がくりかえし表れました。四日後には激痛に見舞われましたが、ホームページの好転反応と思われる現象の内容を見ていた為、あまり動搖はありませんでした。

二回目の気療には、ひとりで高速バスに乗つて行けるまで回復しました。夜行バスだつたので、東京に着いてから少し休んで、東京駅から歩いて天啓気療院に向かいました。約四キロの道のりでしたが、一時間程度で着きました。気療院に着くころにはけつこう疲れていましたか、気療を受けるとまたウソのようにラクになりました。このときの好転反応の症状は、その帰りで表れましたが、激痛ではなく、眠気の強い症状だけでした。

そして前回、三回目の気療後は先週末から好転反応が表れましたが、今はラクになつています。先日、私の運転でとなりの県まで父と花見に行ってきました。このような期間でこんなに回復できるとは夢にも思つていなかつたので、自分自身に驚いています。昨日、気がつきましたが、今まで手をさわるとすごくべトべトしていましたが、それがなくなりましたし、顔色も本当に良いみたいで、父も驚いています。

先生に天啓気療をしていただかなかつたら、今ごろ大変なことになつていたと思います。治していただいてありがとうございました。まだ数回通いますので、今後ともよろしくお願いします。

◇二十数年間悩まされていた線維筋痛症が、わずか二回で改善

線維筋痛症 女性 四十代

「この方の場合も、線維筋痛症が改善したと体験談に載せるのには迷いがあります。なぜ迷いがあるかは、通常線維筋痛症は短期間に全快を望むには無理があると言われています。二十数年間悩んでいた線維筋痛症が、わずか二回の天啓気療で改善しているからです。

線維筋痛症の場合、短期間で全快を望むには無理があると言われています。しかし、この方は、二十数年間悩んでいた線維筋痛症が、わずか二回の天啓気療で改善しました。確かに、たったの一回で線維筋痛症が改善するなどと聞かされても俄かには信じられないかも知れませんが、事実であり真実です。

彼女は最初、電話で予約をしてきました。得体の知れない痛みにもう二十数年間も悩んできました。その為に貯金を使い果たし、親から引き継いだ財産までも売りつくして様々な治療をためしました。しかし、改善するどころか益々痛みが増してきていたのです。

最近になつて「線維筋痛症だと医者から言われて、治療を続けても、一向に改善しなかつたのです。そんな私でも治りますか、先生?」と連絡をしてきたのです。その時、電話の向こうの声は、泣きながらだつたのです。

得体の知れない痛みに悩むようになったのは、二十代のころ、両親を亡くしたことが引き金だったようです。初めに足に痛みが出て、時間が経過することに痛みが全身に広がり出したとのこと。最初は我慢できないほどの痛みではありませんでしたが、年数が経過するほどに痛みは増してきたそうです。

そこで、様々な医療機関を訪ね歩いたものの「原因がわからないのだから治療法もない」として相手にされませんでした。それどころか、「医療機関によつては「痛いと言いますが、気のせいじゃないですか?」「急け癖が出て痛いと言つているのでは?」「精神的に悩んで痛いと思い込んでいるのかも知れないから、精神科に通院してみたら?」などと、見当違いの診察ばかりされ、どうしたらよいのか分からず悩んだそうです。

途方に暮れながらも、どうしても納得がいかない彼女は、更に医療機関を訪ね歩き、ようやくある病院で、自分が長年悩んできた痛みが、線維筋痛症であることを知らされたとのこと。そこで、ネットなどで線維筋痛症とはどのような病気なのかを調べてみると、あらためて自分の病気の恐ろしさを知つたようです。

その後、病院で駄目ならと様々な治療法を試したそうです。その中には、一回の治療費が二十五万円のところもあつたそうです。そんなに高い治療費を請求するところに行つたのと聞いた時、その彼女は、治療費が高いから素晴らしい能力者だと思ってと言つていたのが印象的でした。その時私は、治療費が高いからすごい能力を持つているわけでもないし、だからと言って、安いから良いというわけでもないし難しいからね、と言つた記憶があります。

最初に訪ねて来たとき、彼女は、天啓気療をはじめる前から泣きじゃくっていました。「すでに貯金もないし、仕事もできません。親から受け継いだ財産まで売り尽しました。それでもまだ、線維筋痛症の痛みが改善していない」と訴えていたのです。

私は「大丈夫だと思うよ。これまで、線維筋痛症だと言つて来院した人たち全員が改善している。貴方の場合もきっと改善すると思う。ただ、人によつては、改善のしかたに違ひがあるので、何回とは言えないが、必ず改善するよ」となだめながら、一回目の天啓気療を始めました。

始まつて五分ぐらいたつた時「うわーっ、なに、これ！ 痛みが吸い取られるように感じるし、何かよく分からぬけれど、エネルギーを感じる！」と彼女は驚いた様子で言いました。私は「どう？ 今までの治療法とくらべると？」と聞いてみました。すると「全

く違います。もつと早く来ればよかった」と後悔の言葉がもれたのです。この「もつと早く来れば良かった」との言葉を聞くことは大変多くあることも事実です。

一回目の天啓気療を終了し「どうですか？」ともう一度尋ねてみると「ラクになりました。もっと早く来れば、こんなに長く悩むこともなかつたのに」と、今までの苦労を思い起こすように、涙ながらに語つていました。

一週間後、二回目の天啓気療では、始めたとたんに驚いていました。「うわーっ、やっぱり凄い！」一回目では感じなかつたけれど、全身にエネルギーが伝わつてくるのを感じるし、痛みが一回目よりもっと吸い取られる感じがはつきり分かります。長い間悩んでいた痛みが、こんなに簡単になくなるなんて！」と驚いていたのです。

二回目の天啓気療が終了した後、こちらが恥ずかしくなるほどの大声で彼女は泣いていました。二十数年間悩んでいた線維筋痛症が、わずか二回で改善したのですから無理ありません。最後に、彼女がしみじみと語つた言葉が印象に残っています。

「線維筋痛症が、こんなに簡単に改善するとは思つてもみませんでした。そこで、私のまわりや病院でも、線維筋痛症が改善することを何度も伝えたのですが、何度も訴えても、理解をしてもらえない」と残念がつっていました。

◇十代にはじまつた痛みに、自殺を考えるほど苦しんで天啓氣療へ

線維筋痛症の改善 女性 二十代

この方の場合も、線維筋痛症が改善したと体験談に載せるのには迷いがあります。なぜ迷いがあるのかは、通常線維筋痛症は短期間に全快を望むには無理があると言われています。十数年間悩んでいた線維筋痛症が、わずか二回の天啓氣療で改善しているからです。

私は「線維筋痛症になり、悩み出してから十数年になりますが、一度もラクになつたことがありません。数多くの治療法を実施しても、一向に改善しませんでした。天啓氣療なら、線維筋痛症でも大丈夫ではないかと思うのです」と言って、訪ねてきた方がありました。

その若い女性が来院したのは、腰痛に悩んでいた彼女のお父さんが、いつかは行つてみたいと思い買い置きしていた、私が過去に現代書林より出版した「天啓氣療」を読んだのがきっかけでした。あまりにも遠方の為、来院をためらっていたらしいのですが、痛みに

耐えかねて来院したようです。

これまでの十数年の経過は、以下のとおりです。

十代に腰のあたりが痛み出し、その後、両足の太腿から下に向かつて痛み出しましたが、当時はそれほどの痛みではなかったようです。ところがその後、腰から上半身、腕まで痛み出し、我慢できないほどの痛みが全身に表れ、やがて起き上がるのもつらく寝てばかりの生活になり、勤めにも出られなくなり退社を余儀なくされたそうです。

その後、大学病院などの医療機関を訪ね歩いたものの、一向に改善せず、そして、ある大学病院で「これは線維筋痛症ではないか」と初めてそれらしき病名が告げられたとのこと。その際医師は「線維筋痛症は原因もわからず、治療法も確立していない為、改善させることが難しい。難しいと言うより、改善させる方法がないから、痛みから逃れることはできません。どうしても痛みが我慢できない場合は、精神薬的なものでやわらげます。これ以上痛みが増してきたときは、麻薬的鎮痛剤で痛みを止まかす方法しかありません」と告げられたそうです。

彼女の場合も、先に登場した四十年代の女性のように、痛みの原因が線維筋痛症であると判明するまで、他の病院では「仮病ではないか」「気のせいではないか」「怠けたいからのように言うのではないか」「精神からきているようだから、精神科に行つたらい」な

どというアドバイスしかもらえませんでした。なかでも、仮病、気のせい、怠けたいだけ、などと言われたことは、大変なショックだったようです。

早速一回目の天啓氣療をはじめると、五分も経たないうちに「うわーっ、不思議、なに、これ? 身体がしびれてきているように感じる! それに、短時間だけど、もう痛みがなくなっているのがわかる!」と驚いていました。私が「線維筋痛症の痛みの場合、改善していく人もいますが、ほとんどの方はすぐにラクになるようです」と言うと、信じられないといった顔で、驚いていました。

ここで、一回目の天啓氣療を実施後、私宛に彼女から頂いた質問メールをご紹介します。一回目の直後には、痛みが軽減し喜んでいましたが、メールの内容からは、後日に表れた倦怠感と痛みに驚いていた様子がうかがえます。

〈本人からの質問メール〉

先日はお世話になりました。

現在、おかげさまで好転反応と思われる倦怠感、全身の痛みや微熱、リンパ線の腫れなど、少々の辛さはありますが、必ずおさまると信じてがんばっています。ちなみに、私は線維筋痛症の他に「類似疾患である慢性疲労症候群の疑いもある」と診断されました。

しかし「B県内にこの病気を診断できる医師がない」ということから、あくまで疑いの範囲でした。なので、痛みの他に、慢性微熱、リンパ線の腫れ、極度の疲労感は一進一退という状態で続いておりました。

今日は先生にお聞きしたいことがあります。メールさせていただきました。いま私は、ひと月ほど大学病院の麻酔科に通っています。筋肉が硬く凝つっていて、痛む部位に、一度に五ヵ所ほどの麻酔注射を治療として受けています。ですが、先生の治療と一緒にこの麻酔治療を受けても大丈夫なのでしょうか。先生の治療に影響を与えてしまわないか、心配です。以前から、整形外科、心療内科、神経内科に通っていましたが、大学病院の麻酔科はなかなか紹介してもらえませんでした。しかし、運よく、私と同じ病気を患う精神科の先生と出会う機会があり、痛みや辛さを共感して頂いたうえに「対処療法でも痛みがやわらぐから」と、ようやく紹介状を書いて頂いた経緯があるので、いきなり通院をやめる勇気がありません。

勿論、先生の治療は本物であると実感していますので、また近いうちにお世話になる予定であります。お忙しいとは思いますが、お返事よろしくお願ひします。

◎ 私からの返信メール

お便りありがとうございます。

現在医療機関において治療をしている、または、薬を使用しているが大丈夫かとの質問をよく受けます。その時私は、天啓気療とは、貴方の自然治癒力を呼び起こす為のものであつて、どんな治療法との併用であつても大丈夫と答えていきます。

貴方の場合も同じだと考えてください。

私が実施する天啓気療の場合、改善させる能力が強力であり、好転反応と呼ばれている現象をどうしても避けられないのです。また、私を頼ってきた方々が少しでも早く改善して頂きたい為、好転反応と思われる現象の現れ方を観察しながら天啓気療の時間を決めていますので、ご理解の程宜しくお願ひいたします。

確かにこれまでのことを考えると、改善することは難しいように感じても致し方がないでしょう。しかし、私がこれまでに行つてきた例においても、同じような方が大勢いましたが、ほとんどの方は、完全な改善とは言えないまでも、一回から二回程度で楽になつていくようです。貴方の場合もきっと、これまでの方々と同じように改善していくものと思

います。

ホームページにも様々な体験談が載せてありますので、参考にして頂ければ幸いです。確かに、全く同じ体験については載せていないですが、どのような症状であつても同じような改善を示していくものなので、安心してもよいと思います。

それでは、お会いでできるなどを楽しみに待っています。
との返事を出しています。

一週間後、再び彼女が来院したので、二回目の天啓気療を行いながら私は尋ねてみました。「どう、その後の痛みは?」すると彼女は「足の方はすっかり良くなつて、驚いています。でも、好転反応と思われる現象にはもっと驚きました。すぐかつたもの。だるいし、眠いし、なにもする気にもならなかつた。本で読んだときは理解できなかつたけど、本当に天啓気療ってすごい!」と感激をあらわにしていたことが思い出されます。

今まで十数年間線維筋痛症に悩み続け、最近では自殺を考えるほどの痛みだつたそうですね。それが一回の天啓気療で、完全とは言えないまでも改善したのです。二回目の天啓気療を終えて、もう一度、痛みの状態を尋ねたときの彼女のコメントを最後に載せておきます。

「今まで十数年間、数多くの大学病院で西洋医学の治療も受けたし、麻酔科で麻薬と思われる痛み止めも打つてもらいました。精神科の治療も受けたし、氣功の治療、整体、鍼治療、マッサージまで受けたのに全く改善しませんでした。その痛みが、たった二回の天啓氣療で改善するなど想像もつかないことでした。いまだに、どうしても信じられません」と涙ながらに述べていたことが思い出されます。

◇温かいエネルギーで体がポカポカ。治療中から痛みが軽減

線維筋痛症、脳性小児麻痺（小児脳性麻痺）女性 三十代

この方の場合は、以前より身体の痛みが何であるのか分からずいたのですが、想像を超える痛みとなり、様々な医療機関で診察を受けたところ「線維筋痛症」とわかりました。でも、それから大変だったようです。小児脳性麻痺であつたことも一因と考えられます。が、痛みを訴えてどの医療機関を訪ねても相手にされず「治らない病気である」と言われるばかりでした。仕事もできず、施設で世話になつていたそうです。

そのうち「こんなことなら、自殺をすればラクになれるはず」と考えるまでになつたころ、たまたま彼女の友達が、私が当時開催していた瞑想教室に訪れた際、線維筋痛症でも大丈夫かと尋ねられたのです。その時私が、大丈夫だと言つたのですが、その後しばらくの間連絡が無かつたのです。だいぶ経つた頃、その友達が私を直接訪ねてきて、天啓氣療を受けたのです。その友達から紹介されたそうですが、どこに行つても「線維筋痛症が改善することは絶対にない」と言われていた為、当初は信用できなかつたそうです。

私のところへ何度も電話だけはしてくるので「大丈夫だから」と伝えるのですが、なかなか訪ねてこなかつたのです。それで「なぜ来ないのでですか？」と尋ねると「線維筋痛症の痛みはつらく、東京へ行くことはできるかも知れないけれど、帰りが怖いのです」と述べていたのです。この方は、関西方面にお住まいですが、私は「大丈夫。帰りは、完全とは言えないけれど、痛みはやわらぎます」と何度も説得をしました。

その後、ようやくやつてきた彼女に、「一回目の天啓氣療を実施。直後から「痛みが軽くなつた」と喜んでいました。後日になつて表れた倦怠感と痛みには驚いたようですが、二日ほどで痛みも急に和らいだそうです。

一週間後、二回目の天啓氣療を始めたときでした。五分後あたりから勝手に腕が左右に動きだし、その後脚が動き出しました。本人は「ホームページに身体が動き出す人がいる

と書いてありました、「本当に身体が動き出すのね」と驚いていました。

ここに身体が動いたと書いてありますが、身体が勝手に動いたというのでは理解が出来ないと思いますので、具体的に述べます。身体が動いたと表現するより身体全体が「気が狂ったように動いた」と表現をしても良いほどであつたとしておきます。なにしろ、ベッドの上で治療を出来なかつたのです。その際、想像を絶するほどの大声が出ていたこともあつたのです。その内容は、歌のようもあり、祝詞のようなものとも解釈でき不思議であつたとしておきます。

帰りざわに「たつたの一回、それも、一週間の治療で、線維筋痛症の痛みがこんなにラクになるものなのかなあ」と、しきりに不思議がついていたのが印象に残っています。

その後この彼女は、多くの方々に私の能力について紹介をしようと、方々の線維筋痛症について関心を持つている団体に連絡をしたそうです。その際の返答は、線維筋痛症は治るはずないから、そのようなことを言って人を騙して金儲けをしてはならないと言われ、がっかりしたそうです。

〈本人の体験談〉

私は、生まれつきの脳性小児麻痺です。

今まで健常者と同様、普通に生活をしておりましたが、五、六年前から全身に激痛をともなうようになりました。仕事もできず、風が体にふれたり、呼吸するだけでも激痛が走り、不眠症、食欲不振の生活を送っていました。

それからというもの、脳性小児麻痺についていろいろ調べた結果、大変な障害であることを知りました。知識として知った不安と共に、現実に起こっている病気の進行という恐怖に苦しみました。これまで、大阪、名古屋、東京と、有名な病院へ行きました。いろんな検査をしても「異常なし」と言われて、ほとんど門前払いでした。

病院めぐりも三年経つたころ、ある病院で、線維筋痛症ではないかと診断を受けました。私の場合、脳性小児麻痺があるので、病気がどこまで進んでいるかわからないと言うことでした。

線維筋痛症について、当時、日本の医者で知る方はほとんどいませんでした。どんな検査をしてもひつかからない=治療法がない、ということで、自殺者が多いと聞き、恐怖におののいていたのです。ちょうどそのころ、元アナウンサーが線維筋痛症を苦にした上で自殺、という報道から全国に病名が知れ渡ることになりました。その為、私も一層恐怖にかられていたことも事実です。

初めて北沢先生にお会いしたとき、温かいエネルギーに包まれ、体がポカポカしました。

脳性小兒麻痺ということもあつたのか、全身が激しく動きましたが、治療中から痛みが軽減したので、北沢先生がおっしゃっていたことは本當だと思いました。

結局、私は三度目の治療で線維筋痛症の痛みが全くなくなりました。あんなに苦しかったことがウソのようです。また、まわりの方に「肌がきれいになつたね」とよく言われるようになりました。

病名に全く左右されない天啓気療の効果もすごいのですが、なによりも、皆さんには北沢先生の人柄にふれてみて欲しいと思います。本当に、お馴染様のように温かい方です。病気だけでなく、心も元気にしてくださいます。

今後は治療も受けつつ、まわりの方のサポートをしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

本当にありがとうございました。

北沢先生を紹介してくださった知人にも、深く感謝しています。

◇あらゆる治療法をためして失敗。最後にたどりついた天啓気療

線維筋痛症、および精神的悩みの改善 女性 四十代

この方の場合、痛みに耐えかね、整体、鍼治療、氣功療法など、数えきれないほどの治療法を試したが、全く改善しなかつたそうです。ただ、私の能力のことは以前よりホームページを見ていた為、知っていたようです。しかし、私のところを訪ねるのにも、以前の治療法が駄目だったことを考え、ずっとためらっていたそうです。

彼女が発症したのは、二年ほど前のこと。

太腿を鍛えようとトレーニングをはじめたところ、耐えがたいほどの痛みが太腿から膝にかけて走り、心配になつた彼女は、正しい情報を求めてインターネットを検索し「この激痛は線維筋痛症に似ている」と思つたそうです。あわてて、線維筋痛症を扱う専門の医療機関を訪ね、専門医に診察してもらつたところ「線維筋痛症に間違いない」と診断されたとのこと。

それからというもの「現在の医学では原因も分からぬ、改善の余地もない、恐ろしい

病気になってしまった」と毎日考えるようになり、不安が増し、無気力になつていったそうです。いつまでも悩んでいられないで、レイキ、気功療法、鍼治療など、いずれも約半年間ずつ試みてみたのですが、変化が表れるどころか、益々痛みが増し、その範囲も広がってきたとのこと。

それでも「線維筋痛症が改善した」という情報を求めて、線維筋痛症について書かれたホームページを検索したこと。そこで「改善した」という情報の載つていた気功療法を見つけ、通い始めたそうです。

一週間に三回ほど通い、その期間は約一年半にも及び、その際「線維筋痛症の場合には、波動水を毎日飲まなければ効果が期待できない」として、波動水も薦められて毎日眞面目に飲んだそうです。しかし、やはり改善するどころか、益々痛みは激しくなるばかりであり、気持ちちは落ち込み、何もできなくなり、すっかり途方に暮れてしまつたとのこと。

やがて「確かに改善した人がいるかも知れないけれど、約一年半も通つたのに改善しないのだから、私はこの療法では治らないのだろう」と思うようになり、その療法を打ち切り、そして、私のホームページに線維筋痛症の改善情報が記載されていたことを思い出し、私のところへ連絡をしてきたのです。

早速、一回目の天啓氣療をはじめると、精神的に悩んでいる方の特徴が表れてきました。

そこで私はつい「線維筋痛症の痛みにそうとう悩んでいたとみえて、精神的にまいりつているなあー」とつぶやいたのです。すると、先述した、これまでの治療の経緯を話してくれたのです。

終了するころに、彼女はこんなことを口にしました。「線維筋痛症の痛みは改善しているように感じませんが、精神的には表現の方法がないくらいラクになつています。それと、心と身体の力が抜けているようなリラックス感があります」と述べていたのです。

その翌日、連絡がありました。

「先生、好転反応のような現象がはじめて出ました。前にいろいろやつてみた治療でも好転反応があると聞かされていましたが、今回、初めて好転反応が出たんです」と、とても喜んだ声が、電話のむこうから響いてきました。

二回目の天啓氣療では、こんなことを言つていました。

「痛みが全てなくなつていてるわけではありませんが、我慢ができる程度の傷みに落ち着きました。それと、精神的な悩みは想像もできないほどラクになつています。とくに、線維筋痛症を恐れていた心の動搖が今はほとんどありません」と述べていたのです。

三回目の天啓氣療では「痛みはかなり改善して、気にならなくなりました」と喜んでいました。その際「他の療法で多くのお金と時間をムダにしたけれど、線維筋痛症になつた

ことで、多くの社会勉強もしました」と前向きな言葉も聞かれました。

その後、四回目ほどでほとんど痛みが気にならなくなり、線維筋痛症で精神的に悩むこともなくなつたそうです。

その後、彼女と同じ氣功療法へ通っていた方々も、彼女の紹介で来院されました。勿論、その方々にも良い結果が表れています。

◇変形性股関節症の痛みに悩み、たどりついた天啓氣療

変形性股関節症の痛みが改善 女性 三十代

この方の場合は、線維筋痛症の痛みに耐えかねてではありませんが、やはり痛みがあつたためにお越しになつた方であり、参考になるかと思い体験談として記載しました。

〈本人の体験談〉

北沢先生こんにちは。御世話になります。

北沢先生に天啓氣療をしていただき、体の調子や痛みが改善されました。

ありがとうございます。この度、北沢先生の氣療院をこれから訪れる方の希望の、参考にしていただけたらと思い、体験談を送らせていただきます。
宜しくおねがいします。

私が北沢先生の元を訪れたのはまだ冬の寒い日でした。

変形性股関節症の痛みに悩み日頃から信頼する恩師から北沢先生のことをするすめていた
だきました。

気療院を最初に訪れた時には右股関節の軟骨がすり減つて、骨と骨がぶつかっており、
痛みが生じて歩けない状態でした。五メートルから一〇メートル歩くのがやつとでしたので、天啓氣療院にも、ちょっとの距離をタクシーで行きました。

初回の天啓氣療を受けると、私の場合は、手や足の先のほうがぴりぴりとしたり、透明人間のような体の境目が消えたような感覚があつたりしました。氣療を終えるとすぐくり

ラックスして、湯上りのように気持ち良く、痛みも楽になつたように感じました。

帰ると、ものすごく眠くなり、熟睡しました。その間、まどろむなかでも、脳がとてもリラックスするような感覚がありました。目覚めてからもぼーっとしていて、しばらくゆっくりと身体を休めました。そして、十分に休んでから、なんだか歩けるような気がして外に出てみると、それまで歩けなかつた距離が、歩けるようになつていました。

今まで見つけられなかつた最寄りの駅を見つけたり、すごく世界が開かれたような明るく希望が持てるような気持がしました。先生の元へ何度も訪れ、その度歩きやすくなつたり、距離も延びるようになりました。タクシーでしか行けなかつた距離も歩いて駅まで行けるようになり、それに、人間関係がぐんぐんと良くなつたように感じます。

数か月程すると、何だか股関節に、隙間ができるるんぢやないかという感覚を感じるようになつてきました。そして、病院でレントゲンを撮つて半年前と比べたところ、半年前にはなかつた関節の間の隙間が出来、新しい軟骨が再生されてきていたのです。

何度か気療院に通つていた間、いつも北沢先生が患部の右股関節に重点的に手を当ててくださいました。いつも気さくで、優しく迎えてくださる先生や奥様の人柄にいつも癒され、お話しする度に心の奥からほつといたしました。

そして心の面でのアドバイスもいただけていたことがとてもありがたかったです。北沢

先生、奥様ありがとうございます。

これからもまた、訪ねて行きたいと思っております。宜しくお願ひいたします。

◇難病にも悩まず、家族への深い感謝をもつ青年が劇的な改善

脳性小児麻痺 男性 二十代

その男性が初めて来院したとき、顔や腰だけではなく、身体全体が大きく変形していました。

腰に大変な激痛があり、言葉もよく聞きとれませんでした。その方を前にして私はなぜかとても不思議な心の安らぎを覚えました。

その方は、幼少期に脳性小児麻痺になり、その後大変な苦労を重ねてきました。しかし、両親や家族に対して感謝こそすれ、恨みもせず、欲もなく、自分をも悲観していないうに感じたのです。神様に会つたら、このように感じるのかなとも感じました。

お客様に対して「自然の法則に即した自然なる愛」や「自我意識のあり方」を強調して

いる私ですが、なぜか「人間はこのように生きなければならない」と語りかけられているような気がして、心が洗われる思いをしたのです。

早速、天啓気療を開始すると、不思議なことが起こりました。かつて、宇宙を題材にした『エイリアン』という映画がありましたが、まるである映画で観た、あたかもエイリアンが身体を食い破つて出てくる寸前のように、彼の顔、腰、身体全体が内側から激しく突き上げられるようにボコボコと動いたのです。

動いたのが筋肉なのか神経なのか定かではありませんが、肉体からおよそ十センチはボコボコと盛り上がり上がっていました。その時、一緒に来院した彼の同僚が、驚きを抑えるのに必死になっていたことを思い出します。勿論、私も驚きを抑えるのに必死だったことを覚えています。必死だったのは、笑うのを抑えることだったことを述べておきます。このときの天啓気療で、長い間悩んでいた腰痛は全快したようです。

一回目に彼が来院したとき、私は「あれっ」と驚きました。見覚えはあるものの、だれだつたのか思い出せないくらい、顔や身体の変形が改善していたからです。しかも、今ははつきりと言葉まで聞きとれるようになっていました。早速二回目の天啓気療を始めると、一回目とは少し異なりますが、腰から下全てが方向の定まらない動きをして、身体からちぎれてしまうのではないかと思えるほど激しく動きました。そして、前回と同じよう

に、身体全体からなかが激しくボコボコと盛り上がりました。

三回目の天啓気療では、腰から上全体、とくに両腕がバラバラになりそなくらいメチャクチャな動きをして、身体からちぎれてしまいそうなほど激しく動きました。

四回目になると、激しい動きもおさまり、両腕だけが大きな円を描くように動きました。それからも、来院する度に、彼の身体は本人の意思に関係なく勝手に動きだしました。それに伴って、表情、話しかた、行動などが急激に変わっていました。

その後、私は、彼に対してひと言「よかつたね」としか言えませんでした。実は、出会いから今までのことを振り返り、私自身が感激してしまい、言葉につまつて、それ以上なにも言えなかつたのです。

たとえ難病に悩んでいるとしても、この方のようには、自我意識を捨て、病気を気にしないようになれたなら、想像もできないほどの改善をするようです。もし、貴方に病気があり、改善しにくい場合は、この方の心のありかたを見習つてみてください。きっと悩みから解放されるでしょう。

現在でも、この方を思い出すと胸が熱くなります。

私など、五体満足で生まれ育ったにもかかわらず「両親に対して、ろくに感謝をしていない心が働いており」恥ずかしくなります。

手をかざすだけで、病気を改善させていく能力を授かつたことを、神様、そして両親に感謝し、よりいつそうの修行を積まなければならぬと誓いを新たにするばかりです。

この書籍内に体験談として記述している内容は、痛みに悩んでいた方々の改善例のみですが、その他の改善例も多くあります。

その他の事柄や体験談について詳しく知りたい方は「書籍・天啓氣療」並びに天啓氣療院のホームページなどを参考にして頂ければ幸いです。

この書籍内に書き記されている内容は、一般的な常識では在り得ないし、医師の資格もないのに「改善するなどと言るべきではない」と批判を受けることが時々あります。しかし私は、眞実のみを記載して公開をしています。どうか、常識という先入観に捉われることなく、素直な心を持って判断してほしいと願うばかりです。

あとがき

この書籍の内容は、哲學的になり過ぎていると感じる部分が多くあります。例えば、心のあり方とか、意識のあり方とか、自然の法則に即した愛のあり方とか、考えてみればこのような事柄は、病気などには全く関係がないようにも考えられます。

しかし、私が治療をしていく過程において、この事柄が最も大事であると考えなれば、納得や理解ができない事もまた事実です。確かに、そのようなばかりた事と思われますが、一例として例外がない事もまた事実です。

もし貴方が、病気から一日も早く開放されたいのなら、是非、心のあり方や自然の法則に即した愛のあり方について思考して頂き、常に心掛ける事をお勧めいたします。再度述べますが、今まで貴方が行つてきた行為や、これから行なおうとする行為は、自然であり、自然の法則に即した自然なる愛ある行為であり、他の方々のためになる行為であるがなども問題になるような気がいたします。

能力であつても、健康であつても、自然の法則から検討して必要の無い方には、強く望んだとしても与えられない事も事実問題としてあります。貴方にとってその望みは、自然の法則から検討して相応しい望みであるのか考えてみるべきです。

どのような事柄に対しても、心のあり方や自然の法則に即した愛のあり方が影響を与えていることは紛れもない事実としてあるので注意が必要です。ですから、貴方の望みが自由

然の法則から判断して相応しい場合には、思いもかけない程素晴らしい体験をすることになります。その体験などについては、自分なりに考えてみることをお勧めいたします。

西洋医学の先進国であるイギリスでは現在、スピリットチャル・ヒーリングとして、一般の診療の一部として病院内にヒーリング部門が置かれているそうです。普通の内科的治療にするか、ヒーリングにするか、あるいは併用治療でいくか、基本的には患者さん個人の選択により実施されているそうです。

ヒーラーになるための資格試験などもあり、更に、患者にとつては最も気になる医療保険なども勿論対象になるというから実に素晴らしいものです。日本の医療機関においても西洋医学一辺倒ではなく、是非そくなつてほしいと願うばかりです。

スピリットチャル・ヒーリングとは、祈りと手かざしで癒しや治療を実施するという意味であり、日本の医療機関では、全くといつても言い過ぎではないほど馴染みのない言葉や行為です。ましてや祈りとなると、ご存じのとおり日本では無宗教者が多く、容易に受け入れがたい方々で占められています。それに対してイギリスにはキリスト教を受け入れている方が多いので、手かざしによる癒しや治療の方法も気軽に受け入れるものと思われます。《キリストは、手かざしでは世界的に有名な方です》

日本ではどうでしょうか。一般の方々にヒーラーや手かざしについて話をするだけでも、

なんだい宗教か、馬鹿なやつだとか、あの人は嘘つきであり、人を騙しているなどと言わるのが一般的と言つても良いでしょう。日本では特に、宗教を気軽に語り、また、目に見えないエネルギーなどを受け入れる事は、要因がはつきりしている訳ではありませんが、タブーとされ、敬遠される事が多いのです。従つて、多くの皆さんが理解や納得をして気軽にヒーリングを受け入れる事は困難であり、無理があるのかも知れないのです。

しかし皆さん、よく考えてほしいのです。自分が納得できる事や、現代科学で証明されたもののみが正しいとは言えない事を知つておくべきでしよう。生命、愛、思い、喜び、怒り、哀しみ、楽しみ、苦しみ、痛み、だるい、疲れる、しづれる、寒い、暑いなど、その他の様々なエネルギーなどは、目には見えなくとも確かに存在し、そして感じ、更には、科学的に絶対に解明できないものも、現実に大変多くあります。例えば、地球が宇宙に浮いていて、自転をしながらとてもないスピードで飛んでいる、と言われても納得できるでしょうか。この例は、科学では全く解明できていないのですが、皆さんどの方も疑う事なく認めています。

私は、人生とは心のあり方の鏡であるといつも思っています。何故なら、この書籍の中にも何度も、意識的であろうが、無意識的であろうが、良い事であろうが、悪しき事であろうが、心の中に描いた事は実現すると述べてきました。要するに、現実に自分の周

りで発生する事柄は、自分自身が望んでいると解釈しなければならないのです。ですから、病気などの事柄を心の中に恐怖などとして、理由はどうであれ絶対に描いてはならないのです。

日本の神社や神棚には、神鏡が備えられている事が常識となっています。この神鏡が備えられている理由は、神様の御靈を表すと同時に、神様に対して誓いを立てる方々に対しでは、自分自身の心を写しだすため、そして、自分自身に対し誓いをあらたにするために備えられている。と、私としてはそのように考えています。従つて、宗教などの場合であつても、私が述べている事と同様に、心の中に思い描く事を重要視しているものと考えられます。

注意点として、心を落ち着かせたり、精神状態を安定させるのに大変良いとして、多くの方々が行つてゐる座禅や瞑想について述べておきたいと思います。

座禅や瞑想を試みた場合、私が体験した、光を見る、音が聞こえる、身体が異常に熱くなる、肉体離脱が始まるなどの体験が始まつた場合には、くれぐれも注意を怠らないようにして頂きたいのです。それは、私が体験した事柄と類似した現象に悩まされ、悩み苦しむこともありますが、私が実施している天啓氣療の方法と類似しているものには、多種多

様の治療法があります。

身近なものとして、レイキ治療や氣功術、氣功治療、氣功整体、中国氣功、医療氣功、外氣功などがあります。これらの治療法は、誰であつても訓練をすることにより可能となります。よつて、誰にでも簡単に開業できるとして、多くの教室や学校と称されるものなどが存在しています。

次に身近なものとして、靈的治療による方法です。

この治療法は、誰であつても持つている靈的な力や、念の力などによる治療のことを指しています。自分の念を集中させ、病気などに悩んでいる方に対し影響を与え、正常な状態に導くものです。

次に挙げられるのが、私が実施している天啓氣療の方法です。

この治療法を実施できるようになる為には、私が体験したチャクラの覚醒やクンダリニーの上昇体験の後でなければ出来ないとされています。その能力は、神様から授け与えられた能力であるとか、サイの能力であるとか、超能力であるなどと述べられています。

ただ、ここに示した何れの治療法の場合も、目に見える事柄ではないため騙されたとの話も多く聞きます。

ですから、冷静になつて判断すべきです。

この書籍には、信じられないことばかりが記載されており、理解するのには無理があるようにも感じます。しかし、事実に基づいて忠実にそして真実を書き表していますので、貴方のこれから的人生のために役立て頂ければ、私の苦労も報われるものと思います。是非、そのようにして頂ければ幸いです。



著者プロフィール

北沢 勇人（きたざわ はやと）

昭和 25 年 7 月 25 日生まれ

昭和 49 年 職業訓練指導員 合格

昭和 55 年 一級建築士 合格

昭和 55 年 宅地建物取引主任者 合格

昭和 60 年 一級建築施工管理技師 合格

私は、一級建築士や一級建築施工管理技師として仕事をしていました。一層の飛躍を目指し、能力開発目的に身体の力が抜けリラックス状態時に出る脳波、アルファ波をいつでも出せるよう呼吸法や瞑想を続けていたところ、チャクラの覚醒やクンダリニーの上昇体験をする。その際、強力な光に溶け込んだり見たりする体験もする。それ以来、原因不明の痛みを改善に導いたり癒したりする特殊能力を發揮できるようになる。著書「天啓気療に関するものが多数」

住所

福島県南相馬市原町区深野字宮平 117 番地の 1

TEL. 0244-22-6823 / FAX. 0244-23-2672

●東京都内でも開院。

●ホームページを開設 『天啓気療』をキーワードで検索